



人とくるまのテクノロジー展 2026

Automotive Engineering Exposition 2026

NAGOYA

結果報告書

NAGOYA

2026年6月17日(水) -19日(金)

ONLINE STAGE 2

2026年6月10日(水) -7月1日(水)

ごあいさつ

今回で10回目の開催となる「人とくるまのテクノロジー展 2026 NAGOYA」を
2026年6月17日(水)～19日(金)の3日間にわたり開催いたしました。

本年は541社／1,118小間による企業にご出展いただき、
3日間で34,227名の方々のご来場を賜りました。

本報告書は、展示会来場者と出展企業に対し
実施したアンケートの結果を中心に構成されております。

今回の開催結果を踏まえ、次回の展示会がより良いものとなるよう努めてまいります。
今後とも、当展示会へのご支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

NAGOYA

開催概要	3
来場者データ	4
来場者アンケート	6
出展社アンケート	13
印象に残った出展社BEST30	16
貢献企業表彰	17
JSAE企画展示	18
各種講演	19
各種企画	23
メディア掲載実績	24

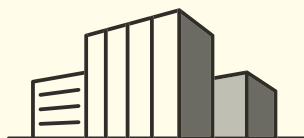
ONLINE STAGE 2

開催概要	26
来場者データ	28
来場者アンケート	31
出展社アンケート	36
出展社ページアクセスランキング	38
各種講演	39
技術情報ブリーフィング	40
出展社一覧	41
次回開催／お問合せ	45



名称	人とくるまのテクノロジー展 2026 NAGOYA
会期	2026年6月17日(水)～ 6月19日(金) 3日間 10:00 ～ 17:00
会場	Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場) 展示ホールD・E・F
主催	公益社団法人自動車技術会
後援	愛知県、経済産業省中部経済産業局、常滑市
協賛	(一社)板硝子協会、(一社)軽金属学会、(公社)計測自動制御学会、(一社)JASPAR、(一社)潤滑油協会、(一社)情報処理学会、(一社)人工知能学会、(公社)石油学会、石油連盟、(一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(公社)土木学会、(一社)日本アルミニウム協会、日本LCA学会、(一社)日本機械学会、(公社)日本工学会、(公社)日本材料学会、(一社)日本自動車会議所、(一社)日本自動車機械器具工業会、(一社)日本自動車機械工具協会、(一財)日本自動車研究所、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車車体工業会、(一社)日本自動車タイヤ協会、(一社)日本自動車部品工業会、(公財)日本自動車輸送技術協会、(一社)日本ディープレニング協会、(一社)日本鉄鋼協会、日本内燃機関連合会、(一社)日本マグネシウム協会、(一社)モビリティサービス協会
来場対象者	自動車・部品・車体メーカーの設計／研究／実験／開発の技術者・研究者、生産技術・品質管理／技術管理／購買部門の担当者、公的研究機関の技術者・研究者、自動車周辺企業の技術関係者、大学／専門学校／工業高校の教職員・学生など

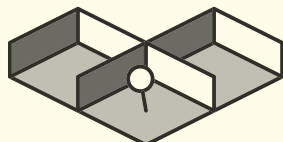
出展社数



541 社

475 社

出展小間数



1,118 小間

989 小間

来場登録者数



34,227 名

34,548 名

日別内訳

開催日	天候	来場登録者数	
6月17日(水)	晴れ 時々 くもり	9,679 名	9,949 名
6月18日(木)	晴れ 時々 くもり	10,783 名	10,779 名
6月19日(金)	くもり 時々 晴れ	13,765 名	13,820 名
		34,227 名	34,548 名

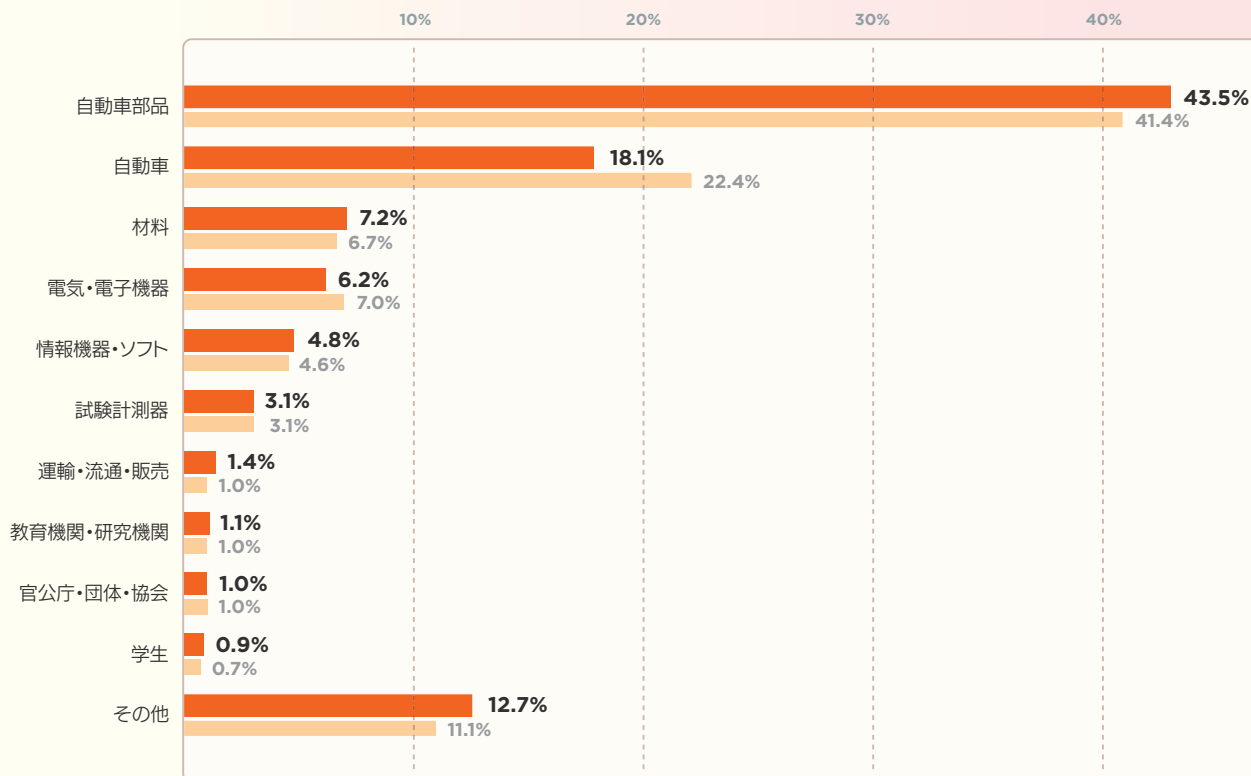
※グレー数値は前回(2025年)の値



来場者データ

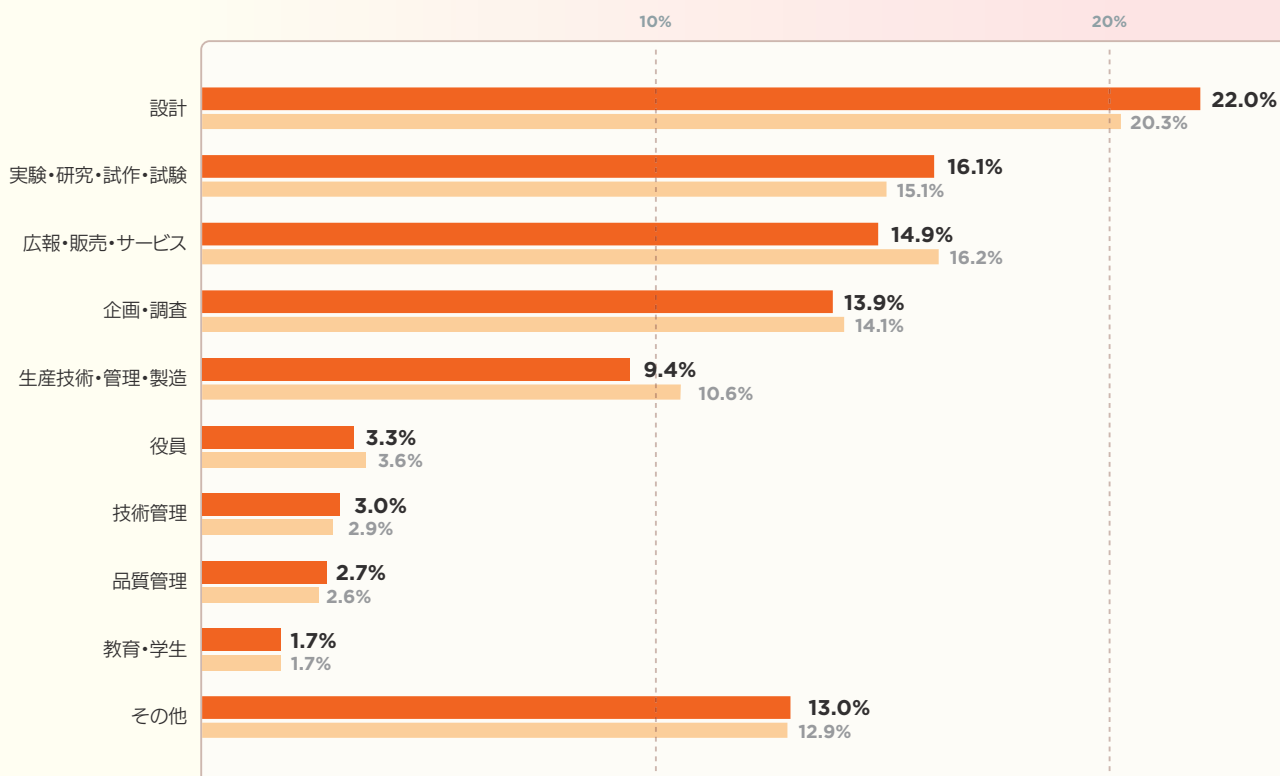
業 種

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



職 種

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ

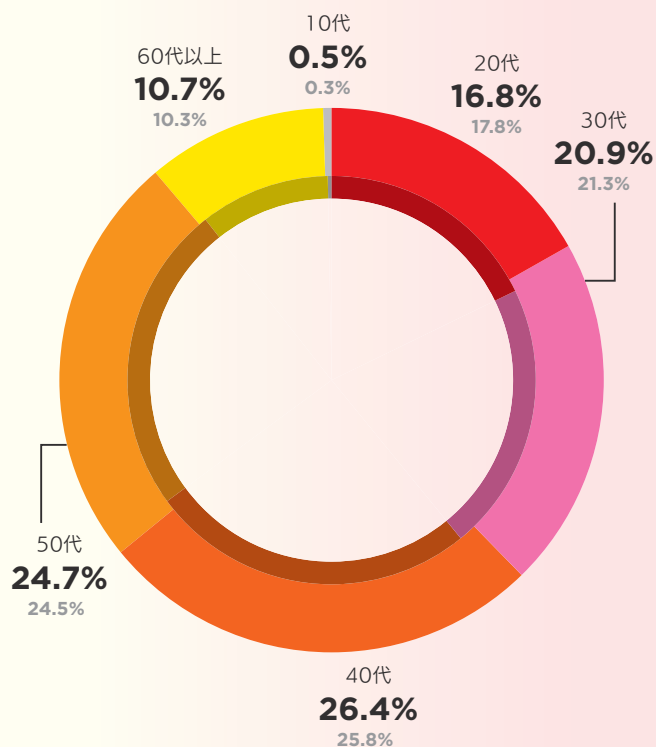


※グレー数値は前回(2025年)の値

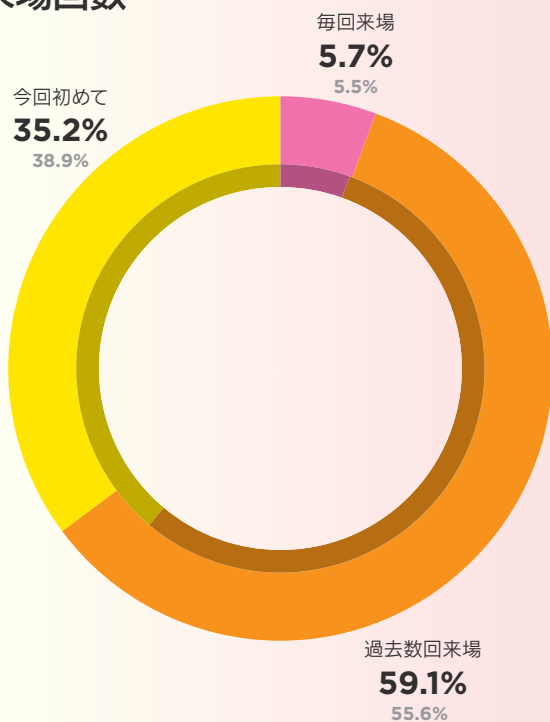


年 代

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ

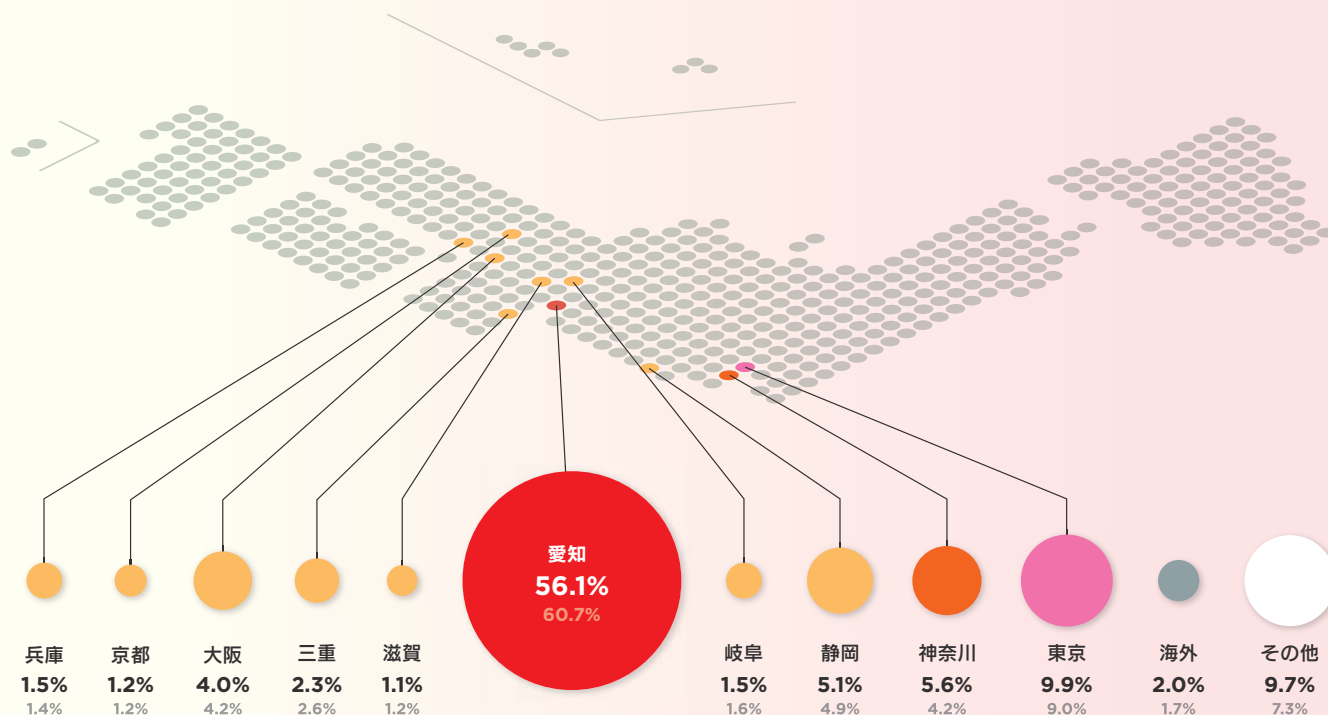
本展示会への
来場回数

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



地 域

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



※グレー数値は前回(2025年)の値



有効回答件数

1,103件**来場者の声**

設計・生産技術・材料など、現場で活用できる技術を効率よく情報収集することができました。出展社の技術者と具体的な課題について直接議論でき、実務に役立つ有意義な展示会だったと感じています。来年もぜひ参加したいと思います。

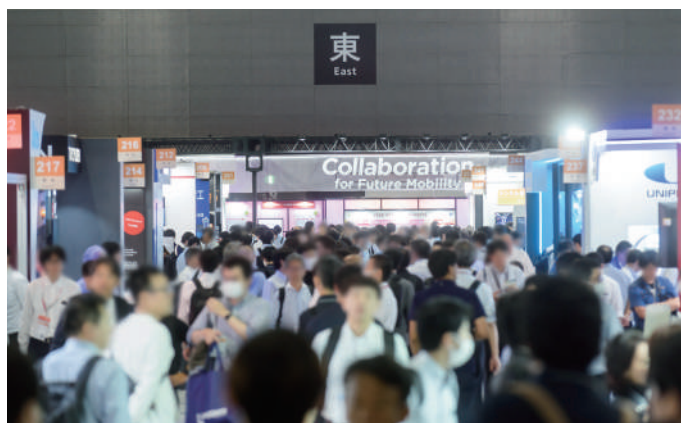
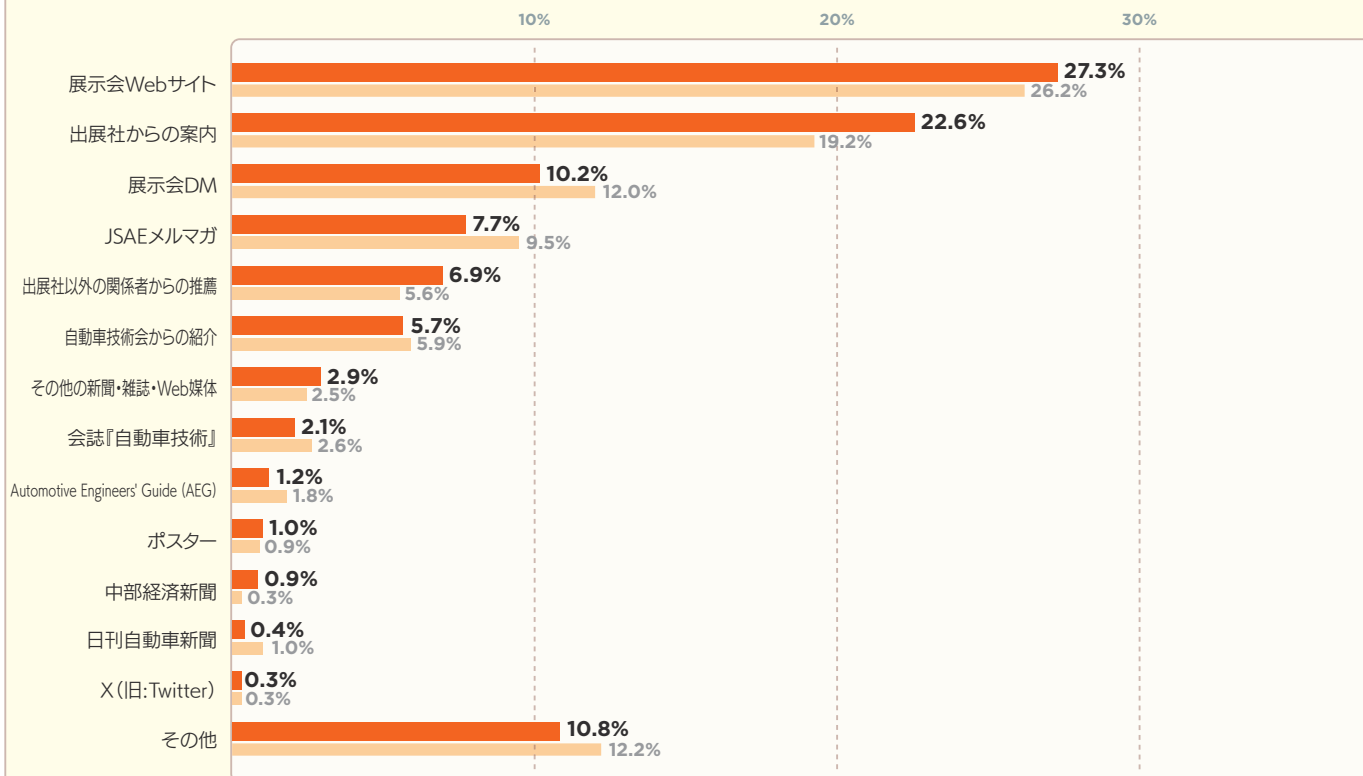
最新技術だけでなく、実際の製品や部品を見ながら説明を受けることができ、理解が深まりました。現場の課題解決につながる展示が多く、ものづくりに携わる技術者として大変参考になりました。

様々な企業の技術を比較しながら見学でき、新しい製品や技術との出会いがありました。講演と併せて参加することで、より深く業界動向を理解することができました。

会場では専門性の高い技術者と直接話すことができ、自社の課題について具体的な相談ができました。中部地域ならではの技術交流の場として、大変価値のある展示会だと感じました。



展示会を知ったきっかけ

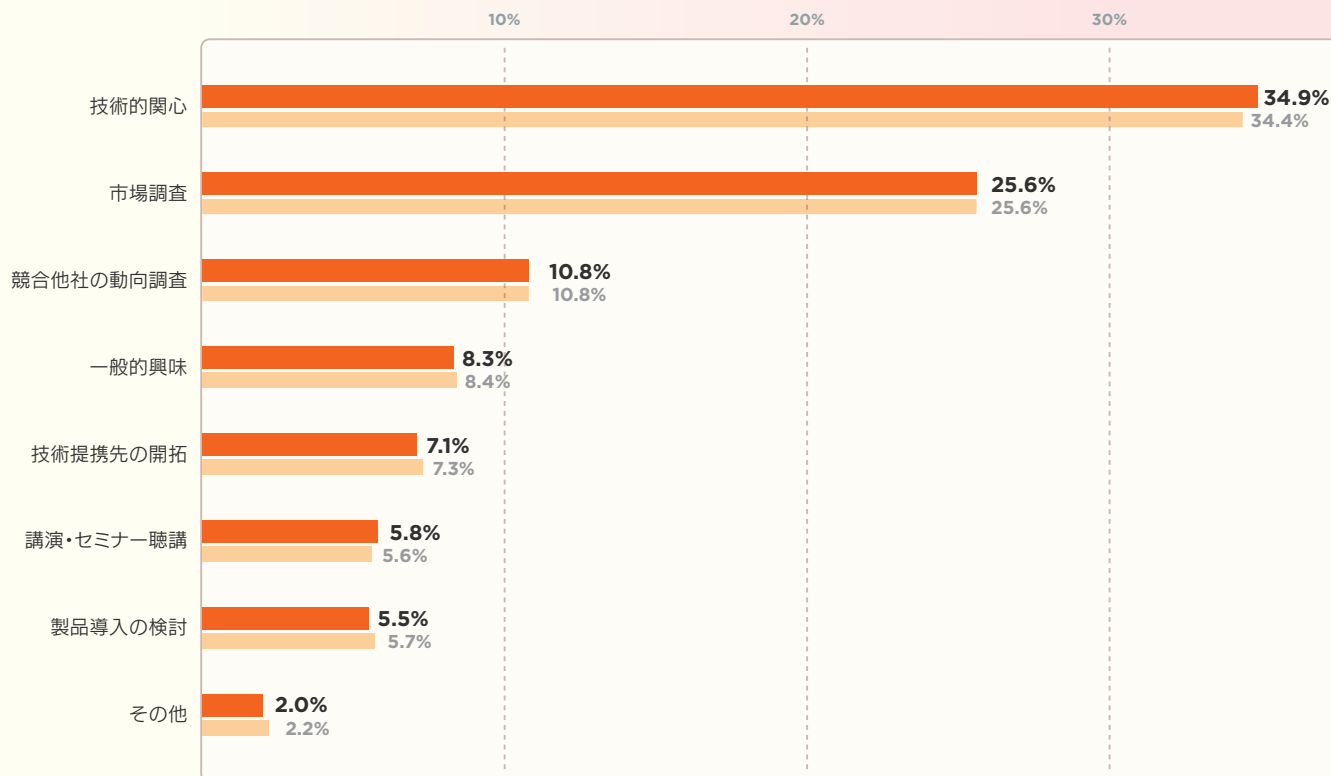


※グレー数値は前回(2025年)の値

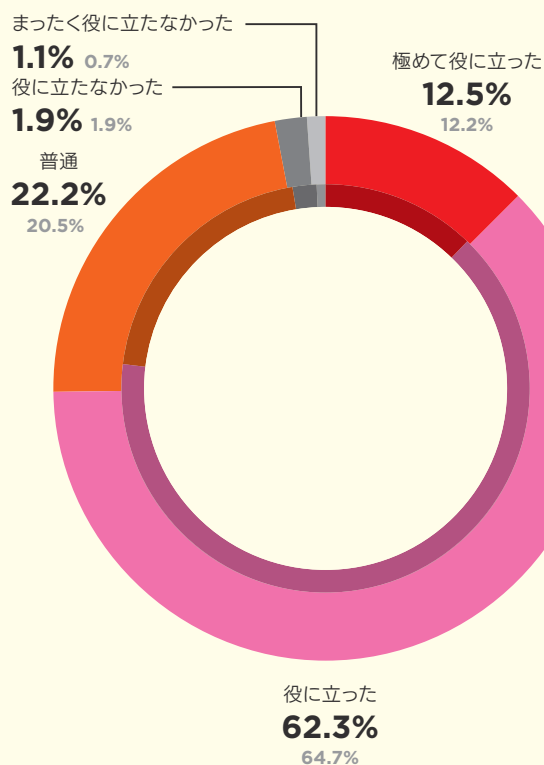


来場目的

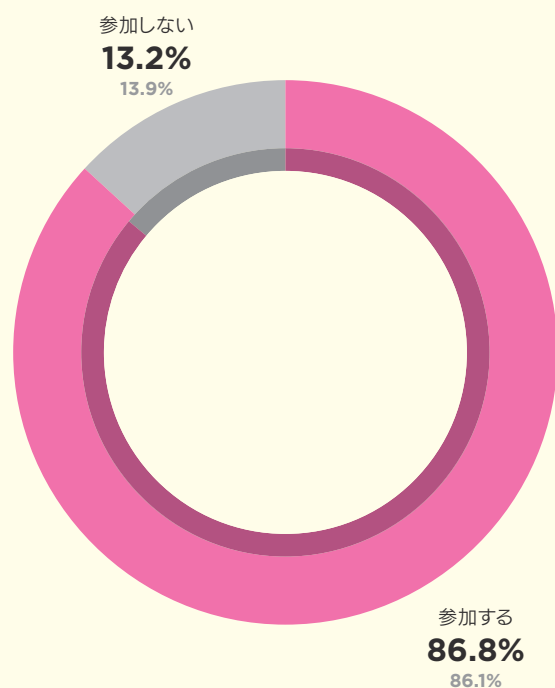
NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



来場目的の達成度



次回参加の可能性

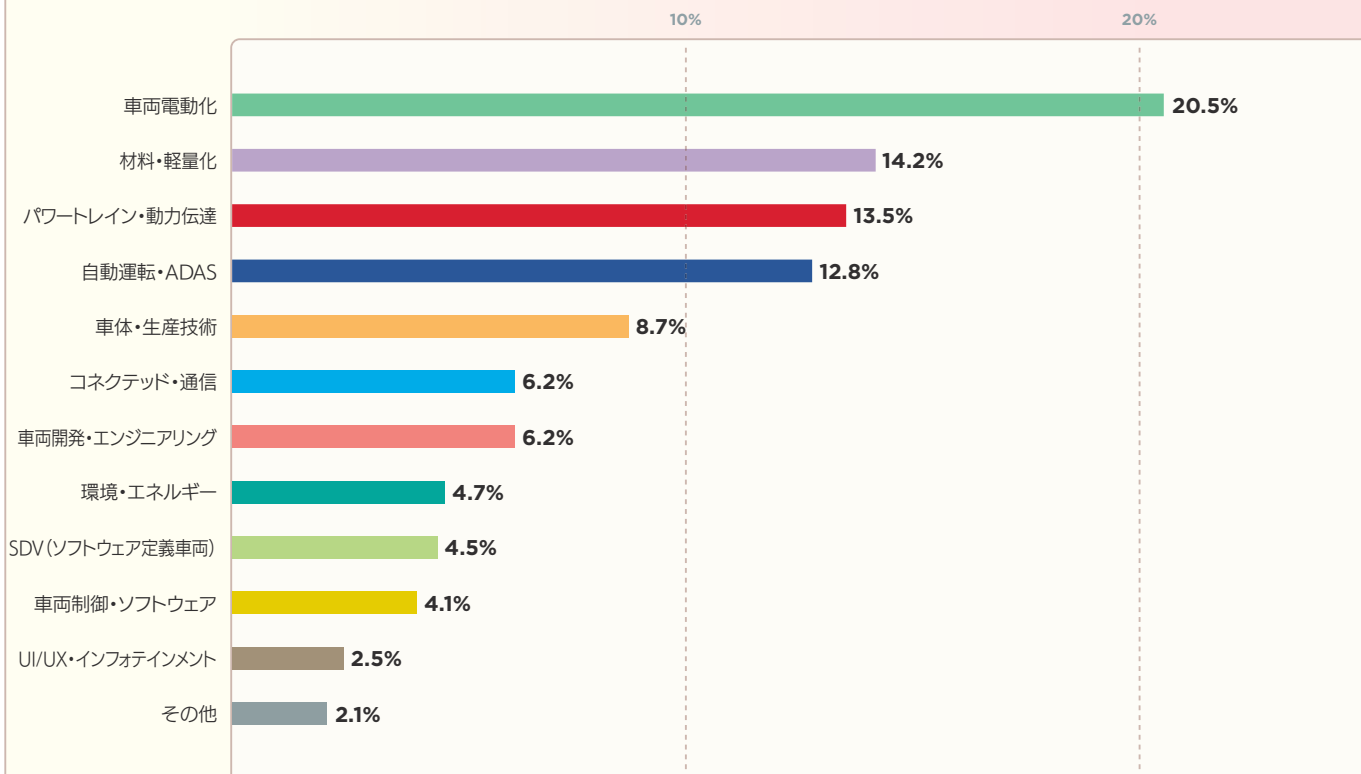


※グレー数値は前回(2025年)の値



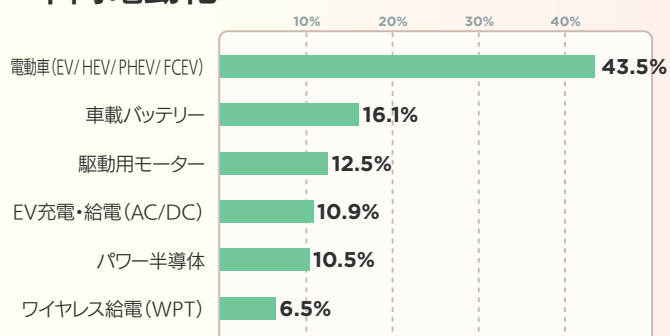
興味のあるカテゴリ

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ

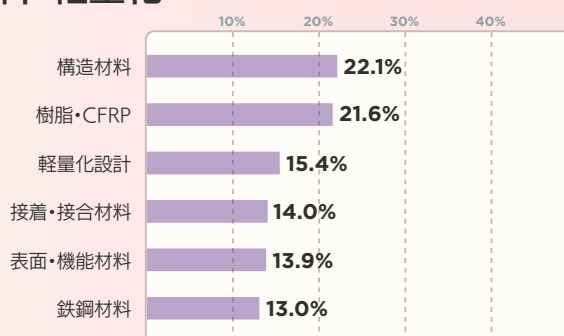


興味のあるカテゴリ 内訳

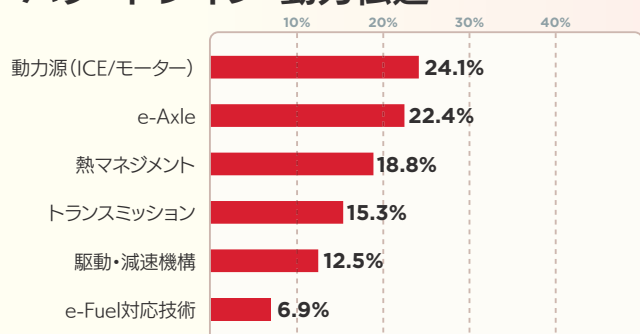
車両電動化



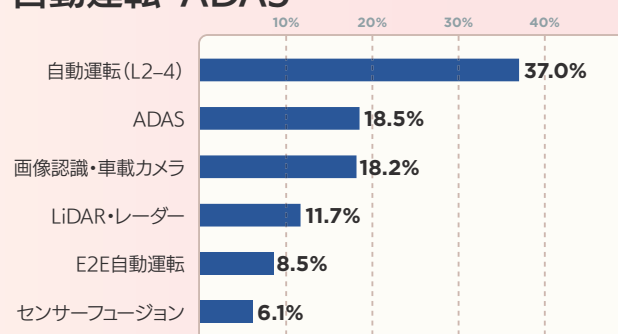
材料・軽量化



パワートレイン・動力伝達



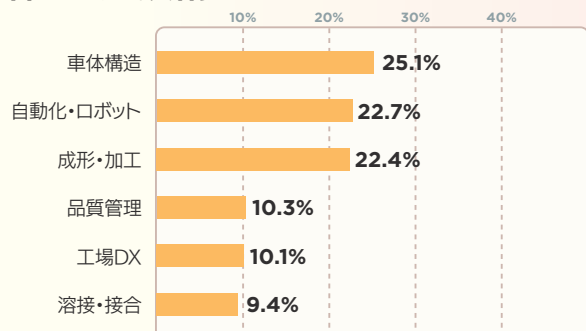
自動運転・ADAS



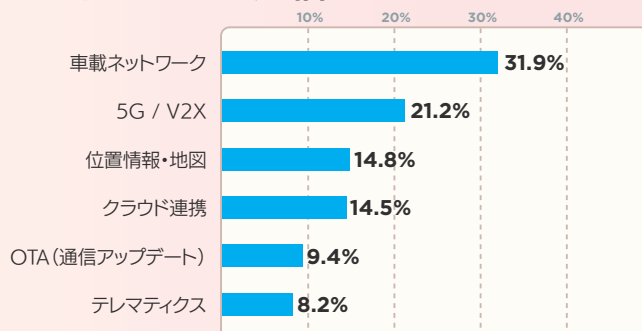
※集計方法の変更により前年度数値はありません



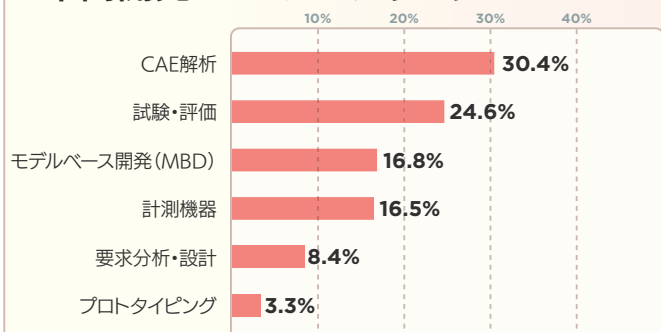
車体・生産技術



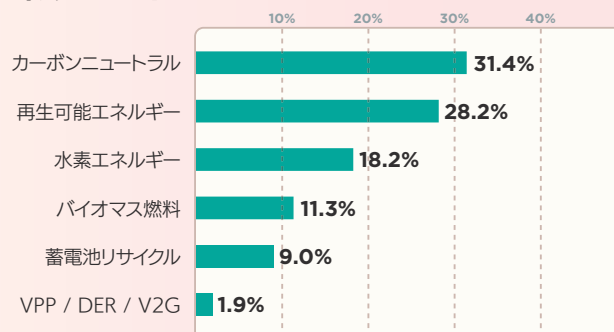
コネクテッド・通信



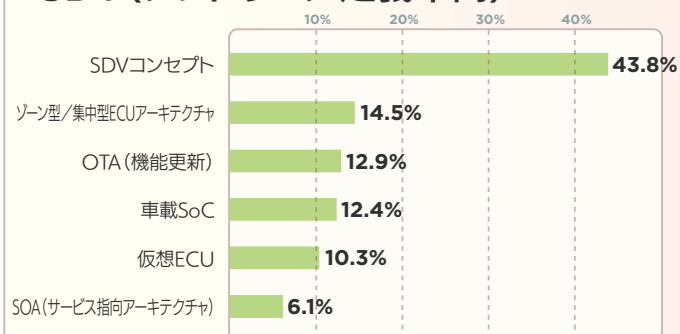
車両開発・エンジニアリング



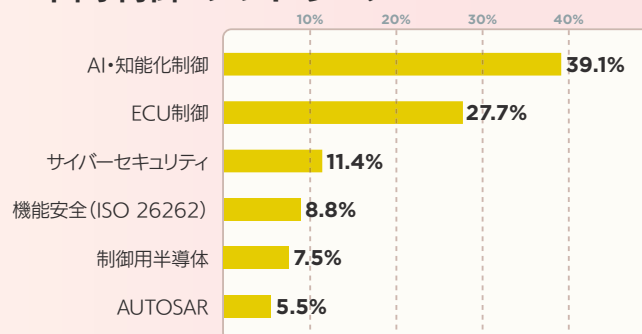
環境・エネルギー



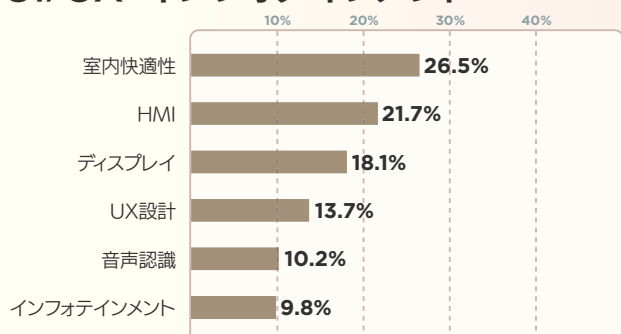
SDV (ソフトウェア定義車両)



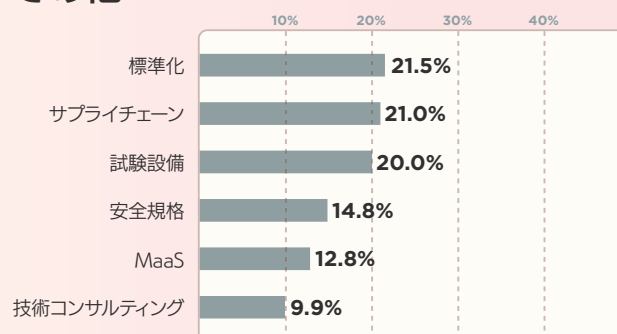
車両制御・ソフトウェア



UI/UX・インフォテインメント



その他





出展社による一般展示で印象に残った展示をお聞かせください。

回答数ランキング

1 実車展示

6 次世代シート

2 カットモデル

7 サーキュラーエコノミー

3 車載インフォテインメントシステム

8 動力伝達システム

4 BEV

9 アウトドア型電動車いす

5 加飾フィルム

10 AI関連技術

その他、印象に残った展示 五十音順掲載

アルミハーネス

自動運転技術

光透過表皮

アルミリサイクル

車載型CO₂回収装置

非破壊検査装置

e-Axle

自律型ロボット

モデルベース開発

HEV

スタビライザー

予防安全システム

SDVプラットフォーム

スマートポール

冷間成形

FCEV

スマートグラス

ロボット技術

カーボンニュートラル

3Dスキャナー

貝殻由来材料

ダイカスト製品

開発支援ソフトウェア

体験型展示

気化性防錆材

DX業務改善

駆動用モーター

電源変動試験機

コネクタ

塗装レス加飾技術

コンセプトモデル

内燃機関

再生可能素材

ハイブリッド変速機

サスペンション

バッテリー関連技術

ジェットパック

パワー半導体材料

自己修復性ゴム

PHEV



今後出展社に期待する展示テーマ・展示製品をお聞かせください。

回答数ランキング

1 AI関連技術

6 BEV

2 自動運転技術

7 生産技術

3 未来のモビリティ像

8 SDV

4 カーボンニュートラル

9 予防安全システム

5 サーキュラーエコノミー

10 ロボット技術

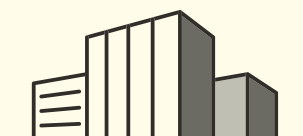
その他、今後出展社に期待する展示テーマ・展示製品 五十音順掲載

e-fuel	小型モビリティ	PHEV
eVTOL	サイバーセキュリティ	非破壊検査装置
EU CRA対応	試験設備	非接触給電
ADAS	次世代シート	V2X
FCEV	車載インフォテインメントシステム	ブレーキシステム
カーエレクトロニクス	車載規格対応	レアアース回収
海外情勢	車内快適性向上	
開発支援ソフトウェア	樹脂製品	
加飾技術	スマートシティ	
カットモデル	スマートフォン連携	
金属加工技術	全固体電池	
駆動用モーター	先端半導体	
組み込みソフトウェア	DX業務改善	
計測技術	内装技術	
軽量化	内燃機関	
ケミカルリサイクル	バイオマス材料	
航空宇宙技術	ハンズオン展示	



有効回答件数

125 社



出展社の声

課題が明確な来場者が多く、製品サンプルを用いた具体的な技術相談や商談につながるケースが数多くありました。来場者の質の高さを実感しています。

来場者からは「何ができるのか」「どのように課題を解決できるのか」といった具体的な質問が多く寄せられました。今年は社内のスペシャリストを配置したことで、より深い技術提案につながり、有意義な成果を得ることができました。

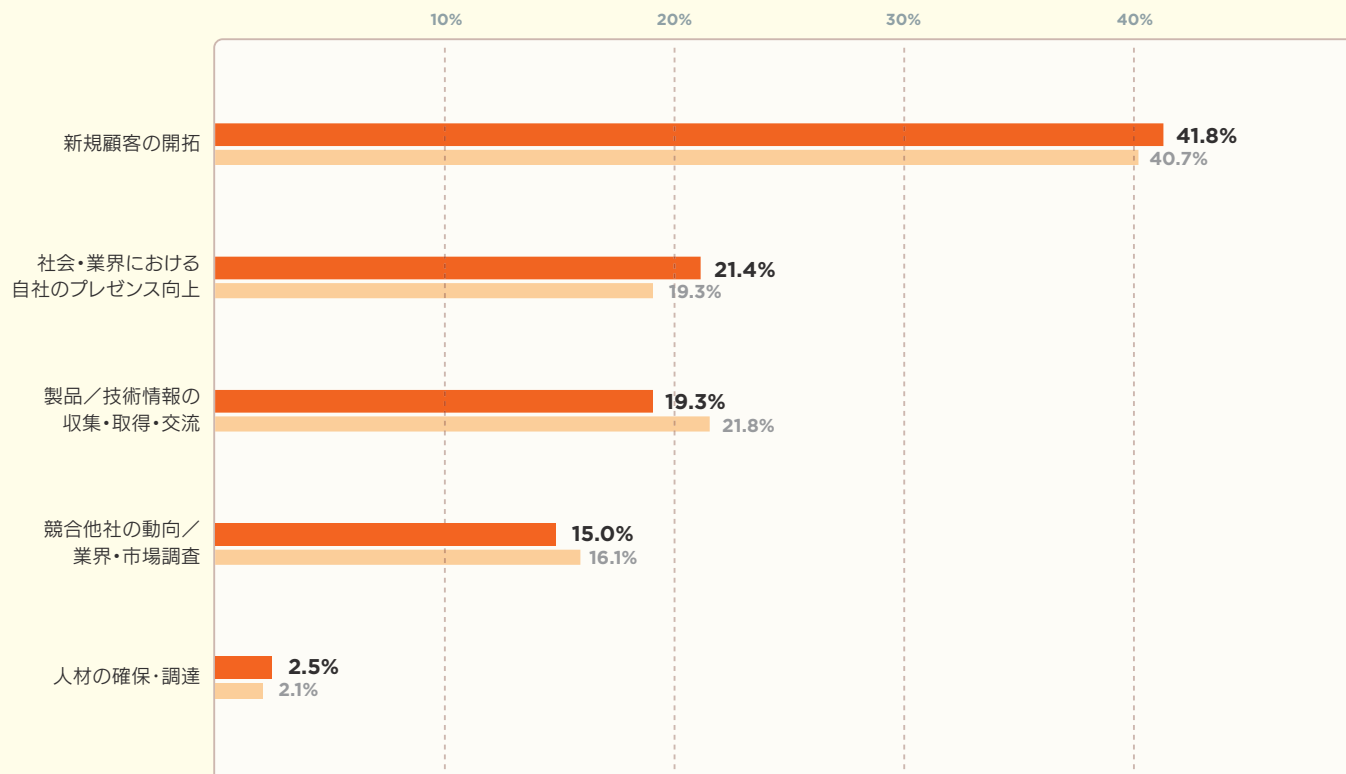
現場の技術者との商談が中心で、目的意識の高い来場者と効率的にコミュニケーションを取ることができました。中小企業にとっても、自社技術を必要とする来場者と出会える貴重な機会になっています。

横浜展とは来場者の関心やニーズが異なるため、展示内容も毎年工夫しています。名古屋展ならではの来場者特性に合わせた展示や提案を行うことで、より高い成果につながる展示会だと感じています。

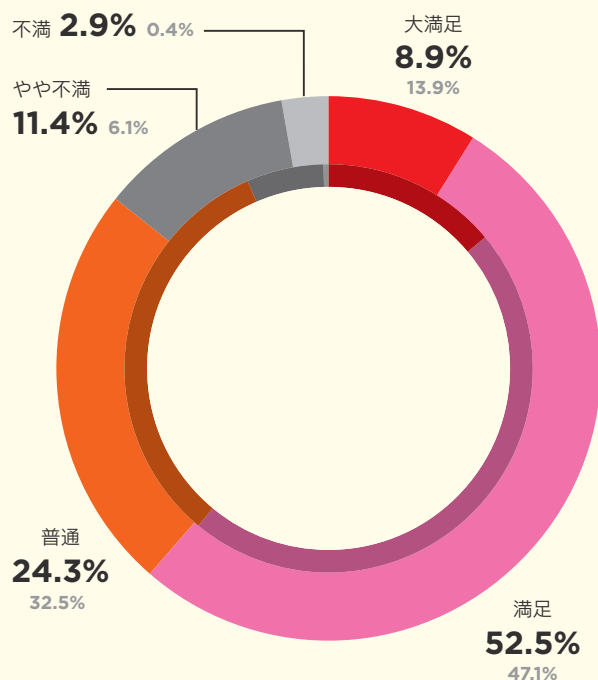


出展社アンケート

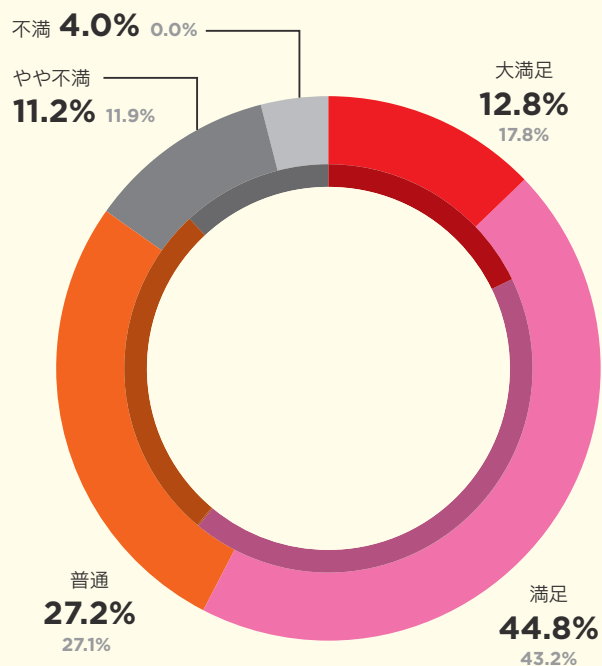
出展目的



出展目的の達成度



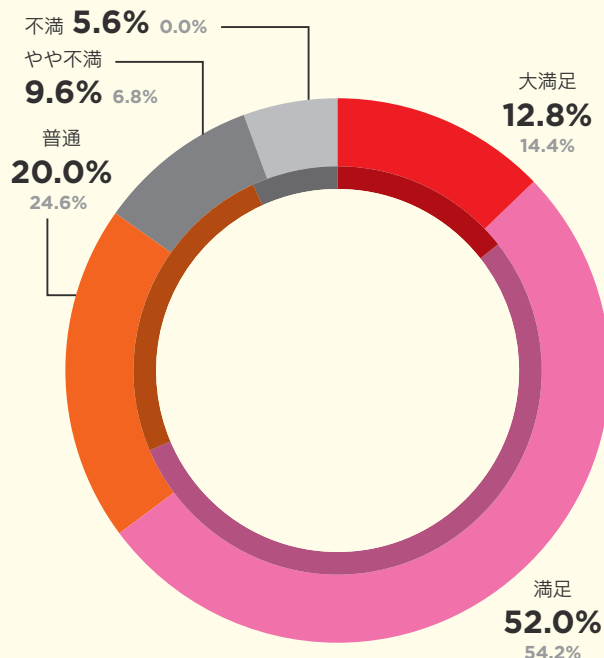
来場者の印象



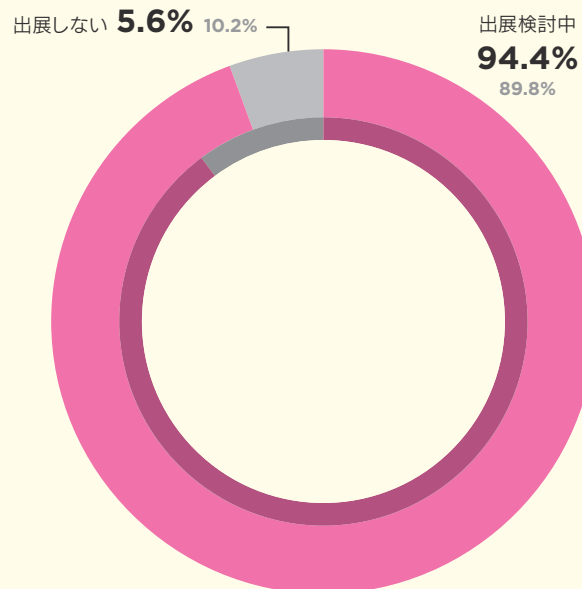
※グレー数値は前回(2025年)の値



総合評価



次回出展の可能性



※グレー数値は前回(2025年)の値



印象に残った出展社BEST30

来場者の皆さまに最も印象に残った
出展企業をお選びいただきました。

総投票数

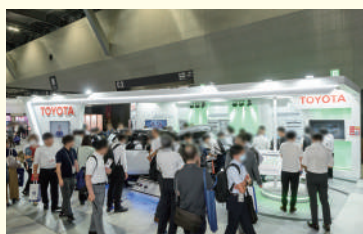
1,768 件

印象に残った出展企業 BEST 30

1	トヨタ自動車株式会社	16	住友電気工業株式会社
2	株式会社アイシン	17	マツダ株式会社
3	株式会社デンソー	18	JFEスチール株式会社
4	本田技研工業株式会社	19	アイカ工業株式会社
5	トヨタ紡織株式会社	20	ダイキョーニシカワ株式会社
6	スズキ株式会社	21	東レ株式会社
7	豊田合成株式会社	22	株式会社マックスシステムズ
8	株式会社SUBARU	23	明治電機工業株式会社
9	日産自動車株式会社	24	日野自動車株式会社
10	ダイハツ工業株式会社	25	フタバ産業株式会社
11	トヨタ車体株式会社	26	株式会社三五
12	三菱ケミカル株式会社	27	株式会社小野測器
13	三菱自動車工業株式会社	28	大豊工業株式会社
14	KOBELCOグループ(神戸製鋼所)	29	津田工業株式会社
15	中央発條株式会社	30	いすゞグループ (いすゞ自動車株式会社 / UDトラック株式会社)

その他、関心が寄せられた出展社

ユニプレス株式会社
株式会社レゾナック
三井化学株式会社
株式会社UACJ
株式会社共和電業
emblem株式会社
東プレ株式会社
株式会社日立ソリューションズ
株式会社堀場製作所
Tebiki株式会社





本展示会に多大なるご貢献を賜りました出展社様に、自動車技術会として深く感謝の意を表し、感謝状を贈呈いたしました。

選考基準:「人とくるまのテクノロジー展」への出展累計回数が15回以上、もしくは出展累計小間数が50小間以上となられた出展社様

貢献出展社一覧 五十音順掲載



韓国貿易センター名古屋



ニチコン株式会社



ユニパルス株式会社



新しい技術との融合で創る クルマとモビリティの未来 -DXと共創で革新する自動車技術-

AI、ビッグデータ、クラウド、ロボティクスー

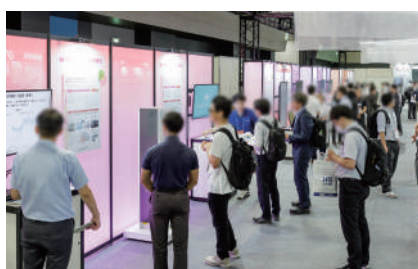
自動車業界はいま、これまでとは異なる技術により大きく姿を変えつつあります。自動運転やテレマティクスの進化にとどまらず、新たな技術領域との融合が、新しい価値とサービスを生み出し、未来のモビリティをリードしていく、そんな転換期のただ中に、私たちは立っています。

本展示会では、DXで実現するクルマの進化、クルマを取り巻く社会・サービスの進化、モノづくりの進化という3つの視点から、企画展示や企画講演を準備いたしました。

これまでの枠を越えた新しい共創の可能性を体感していただきました。

展示協力企業・団体 五十音順掲載

株式会社アイシン／株式会社アダコテック／株式会社Spakona／株式会社SUBARU／住友ゴム工業株式会社／住友商事株式会社／SOLIZE PARTNERS株式会社／株式会社ゼンリン／ダイキン工業株式会社／Dynabook株式会社／Dexterity-SC Japan株式会社／株式会社T2／TIS株式会社／東芝システムテクノロジー株式会社／トヨタ自動車株式会社／豊田合成株式会社／株式会社日立製作所／株式会社日立プラントサービス／日産自動車株式会社／日本AMD株式会社／樋口デジタルソリューションズ株式会社／富士通株式会社／マツダ株式会社





JSAE企画講演

JSAE企画のテーマに沿った講演を実施いたしました。

	6/17 WED	6/18 THU	6/19 FRI
11:00 ┆ 12:00		隠れたAIで高めるモビリティの魅力 東京大学 大学院工学系研究科・教授 川原 圭博 氏	次世代を創る、AIの原動力：生成AIの進化とNVIDIAの挑戦 エヌビディア合同会社 エンタープライズ事業本部 事業本部長 井崎 武士 氏
13:30 ┆ 14:30	DX時代における製品セキュリティの取り組み 株式会社デンソー 情報セキュリティ推進部 製品セキュリティ室長 平永 敬一郎 氏	フィジカルAI革命：クルマの身体化・知能化とアーキテクチャ再設計の必然 名古屋大学 モビリティ社会研究所・客員教授 野辺 継男 氏	パナソニックグループにおけるウェルビーイングとAI技術の取り組み パナソニックホールディングス株式会社 DX・CPS本部 デジタル・AI技術センター AIソリューション部 部長 築澤 宗太郎 氏
16:00 ┆ 17:00	AX時代の組織・人材開発 — 求められるHuman & AI Skills PwCコンサルティング合同会社 組織人事・チェンジマネジメント部門／ 人材開発部門 ディレクター 三城 雄児 氏	Agentic AI により、さらに進化する自動車 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 自動車事業本部 産業スペシャリストグループ プリンシパル ソリューションズ アーキテクト 梶本 一夫 氏	

講演の様子



NAGOYA PRESENTATIONS

各種講演



フォーラムNAGOYA

自動車技術・産業および関連分野について最新の動向や将来の展望を紹介する講演会を現地開催いたしました。

6/17 WED	6/18 THU	6/19 FRI
【N1】 電気自動車モデルとカーボンニュートラル・熱と電気の連成へのMBD/CAE活用事例 企画：国際標準記述によるモデルベース開発技術部門委員会	【N2】 脱炭素社会への道筋： 電気動力技術部門委員会の挑戦 企画：電気動力技術部門委員会	【N3】 ジャパンクオリティとエンジニアの倫理 企画：エシカル・エンジニア開発委員会

特別技術講演 – 次世代モビリティを支える材料革新 –

電動化・デジタル化・カーボンニュートラルの進展により大きな転換期を迎える自動車産業において、競争力の鍵を握る材料技術の最前線を多角的に紹介いたしました。

以下5つのテーマに沿って講演を実施いたしました。

テーマ1 材料開発を加速させる「マテリアルズ・インフォマティクス(MI)最前線」

テーマ2 デジタル体験を具現化する「次世代インターフェース・感性材料」

テーマ3 パワートレインの多様化を支える「高機能・エネルギー材料」

テーマ4 構造革新を加速させる「超軽量・マルチマテリアル技術」

テーマ5 持続可能性を形にする「サステナブル素材と資源循環」

	6/17 WED	6/18 THU	6/19 FRI
11:00 ┆ 11:40	テーマ1 材料の“見えない”を可視化するWAVEBASE 一放射光×AI解析ー トヨタ自動車株式会社 青柳 裕一 氏 住友ゴム工業株式会社 間下 亮 氏	テーマ3 高機能材料開発におけるソリューション技術と 低CO ₂ アルミ合金の開発 株式会社レゾナック 川田 斉礼 氏 / 横田 弘 氏	テーマ4 超ハイテン・アルミ素材を活用した 車体軽量化技術の最前線 神戸製鋼所 内藤 純也 氏
13:00 ┆ 13:40	テーマ1 MIを活用した次世代材料開発 日産自動車株式会社総合研究所 内村 允宣 氏	テーマ3 次世代燃料電池に向けた 新規プロトン伝導性電解質材料 株式会社デンソー 金 甫根 氏	テーマ5 住友化学の炭素資源循環の取り組み 住友化学株式会社 野末 佳伸 氏
14:10 ┆ 14:50	テーマ1 コンピナトリアル型実験・計測技術と機械学習 を組み合わせた磁性熱電材料の探索 日本電気株式会社 石田 真彦 氏	テーマ4 モビリティへのCFRP適用と サステナビリティへの取り組み 東レ株式会社 寺田 幹 氏	テーマ5 ゴム資源循環の取組み ～脱炭再生技術の高品位化と産官学業界連携～ 豊田合成株式会社 栗本 英一 氏
15:20 ┆ 16:00	テーマ3 エネルギートランジション×資源制約時代の 自動車材料戦略 合同会社デロイトトーマツ 庵原 一水 氏	テーマ5 資源循環をテクノロジー産業化で解く ークルマの未来と産業の壁を越える視点 PwCコンサルティング合同会社 細井 裕介 氏 / 齊藤 三希子 氏 環境省 河田 陽平 氏 パナソニック ホールディングス株式会社 松田 源一郎 氏 三菱ケミカル株式会社 飛鳥 一雄 氏	テーマ2 アルプスアルパインのコア技術が作る 車室空間の未来 アルプスアルパイン株式会社 平山 元輝 氏





出展社セミナー

出展社が30分間のプレゼンテーションを通じて、製品・技術情報や企業・業界情報などを詳しく紹介いたしました。

6/17 WED	6/18 THU	6/19 FRI
クルマ開発を支えるのは、どのようなFlash Storage Management技術か — Everpureがクルマにできる中核技術 — Everpure	Introduction to Hyundai Steel HYUNDAI STEEL	欧州電池規則への備え ～規則の理解とデューデリジェンス Intertek NBの役割について～ インターテックジャパン株式会社
IATF16949に求められる流量計校正とは ～国際MRA対応JCSS証明書がもたらす信頼性～ 島津システムソリューションズ株式会社	カーボンニュートラルに向けた燃料多様化と粒子規制の 最新動向に対応するHORIBAの計測ソリューション 株式会社堀場製作所	中国市場で豊富な実績を持つNOVOSENSEが提案する車両安全から自動駐車までを支えるADAS向け半導体ソリューション Japan Novosense Microelectronics株式会社
AIが自動車業界に与える影響 DESAY SV AUTOMOTIVE JAPAN LTD	メタルペロブスカイト蓄電池で実現するインテリ ジェントサスペンション ウイットエンマンジャパン株式会社	メッシュフリー・粒子法 流体解析ソフト 『Particleworks』の最新機能とGPUによる高速計算 プロメテック・ソフトウェア株式会社
リアルなHMIを開発前に。自動車向けProtoPieと 3Dツールが繋ぐUXプロトタイピング プロトパイ	既存設備を活用しながら実現する試験環境の最適化 株式会社明電舎	先進HILS技術とインテリジェントテストへの展望 Emerson (日本ナショナルインスツルメンツ株式会社)
【新ソリューションご紹介】 速さ、解像度、AI、すべて妥協なし!AIビジョンの頂点 となる次世代ソリューション登場 コグネックス株式会社	構造から流体まで Jupiter Solutionsによる Pre/Post効率化 株式会社テクノスター	CAE・実験・実測をつなぐAI活用 — 不確かさを前提としたロバスト設計 — 計測エンジニアリングシステム株式会社
SDVを支える統合E/Eアーキテクチャ ～AUTOSARの戦略的導入～ 株式会社 日立産業制御ソリューションズ	手戻りなき最速の開発サイクルへ: Patsnap AIが導く 次世代車向け材料探索とRare Earth-Lean戦略 Patsnap	欧米CO ₂ 規制の最新動向に対応する 計測・評価ソリューション 株式会社堀場製作所
統合ヒートポンプ技術の進展と冷媒/バルブの革新 盾安汽車熱管理科技有限公司	電池解析をどう進めるべきか? サイズ別に見る最適解析フローと装置選定 カールツァイス株式会社	CISPR 25:2021 Edition5 Annex H EV/HVに搭載される車載部品の評価 株式会社 UL Japan
韓国産業エコシステムとモビリティ産業戦略 KOTRA / Invest KOREA	持続可能なモビリティ社会を実現する高機能ポリマー戦略 — フッ素ポリマーとスーパーエンプラの最前線 — サイエンスコスパシヤルティポリマーズジャパン株式会社	NEDO GI 電動・自動運転車開発を加速する デジタル技術基盤の構築 一般財団法人日本自動車研究所
次世代バッテリー産業と グローバルバリューチェーンの展望 韓国バッテリー産業協会	サステナビリティ規制と情報開示対応 ～欧州電池規則・GHG/CFP/LCA検証・リサイクル認証・IATF対応～ インターテック・サーティフィケーション株式会社	実物で解説、Vicorの高性能電源モジュールを用いた 車載電源ユニットの最新技術 Vicor株式会社
地域モビリティ産業拠点と実証・R&D環境 全羅北道庁、蔚山自由経済区域庁	EVシフト期の開発評価複雑化とリードタイム短縮に 寄与する3D計測活用事例 丸紅I-DIGIOグループ 丸紅情報システムズ株式会社	CNモビリティ開発を加速する、統合解析ソリューション — 素材・駆動・電池・安全を貫く技術力 株式会社コベルコ科研



NAGOYA PRESENTATIONS

各種講演



スタートアップ・アカデミア プレゼンステージ

未来を担うスタートアップ企業や大学・研究企画が参加し、20分のプレゼンステージを開催いたしました。

6/17 WED	6/18 THU	6/19 FRI
なぜ製造業におけるAI導入の7割はPoCで終わるのか？ 事例から学ぶ現場浸透するAIの条件 株式会社Tamon	製造業における生成AI活用最前線 株式会社エム二	MCPを活用した「知財AIエージェント構築」と 特許分析の効率化 Patentfield株式会社
設計の可能性を見える“カタチ”に ～多目的トポロジー最適化によるトレードオフ設計～ 株式会社FAI	車両のSDV化を加速するバーチャルセンサーとは？ ～収集した車両データの活用法とマネタイズ～ Compredict	研究開発の試行錯誤を組織の資産に。開発を加速させるプラットフォームmiHub® MI-6株式会社
ものづくりをひとつなぎに。 株式会社STAR UP	なぜ製造業におけるAI導入の7割はPoCで終わるのか？ 事例から学ぶ現場浸透するAIの条件 株式会社Tamon	ものづくりをひとつなぎに。 株式会社STAR UP
大手自動車メーカーで導入された「作業分析AI」の最新事例 ～作業を撮影するだけで工場を1分でカイゼン～ 株式会社Ollo	要件定義からシミュレーション検証まで、 AIが設計工程を丸ごと自律化する Crystal株式会社	製造業DXの到達点—AIによる図面・レーダー図解析と FMEA自動化、ロボット活用が加速させる現場の革新— 燈株式会社
“つなぐ”を科学する。 — 次世代モビリティを支える革新的接着技術へ — 九州大学	自動車セキュリティの進化：盗難防止の基礎から、 信頼性の高いソフトウェア・ディファインド・モビリティへ モビリティ・サイバーラボ・ジャパン株式会社	高い気密性とCO ₂ 低減を実現する次世代溶接技術 株式会社気密プロジェクション
未然防止エージェント — ベテラン知見のAI化で「日本品質」を強化する — 株式会社 Things	熟練者と新人の「差分」をAIで自動分析 株式会社キャリアサバイバル	“つなぐ”を科学する。 — 次世代モビリティを支える革新的接着技術へ — 九州大学
研究開発の試行錯誤を組織の資産に。 開発を加速させるプラットフォームmiHub® MI-6株式会社	MCPを活用した「知財AIエージェント構築」と 特許分析の効率化 Patentfield株式会社	未然防止エージェント — ベテラン知見のAI化で「日本品質」を強化する — 株式会社 Things
熟練者の「勘と経験」が途絶える前に。～深刻な人手不足を救い、 発注ノウハウを次世代へ繋ぐデータ駆動の仕組みづくり～ LEAN PATH株式会社	高い気密性とCO ₂ 低減を実現する次世代溶接技術 株式会社気密プロジェクション	大手自動車メーカーで導入された「作業分析AI」の最新 事例 ～作業を撮影するだけで工場を1分でカイゼン～ 株式会社Ollo
地上から空へ：ヒト飛行装置が拡張するモビリティ emblem株式会社	製造業DXの到達点—AIによる図面・レーダー図解析と FMEA自動化、ロボット活用が加速させる現場の革新— 燈株式会社	熟練者の「勘と経験」が途絶える前に。～深刻な人手不足を救い、 発注ノウハウを次世代へ繋ぐデータ駆動の仕組みづくり～ LEAN PATH株式会社
車両のSDV化を加速するバーチャルセンサーとは？ ～収集した車両データの活用法とマネタイズ～ Compredict	AI物理シミュレーションによる製造革新 — SolverX SolverX	自動車セキュリティの進化：盗難防止の基礎から、 信頼性の高いソフトウェア・ディファインド・モビリティへ モビリティ・サイバーラボ・ジャパン株式会社
要件定義からシミュレーション検証まで、AIが設計 工程を丸ごと自律化する Crystal株式会社	設計の可能性を見える“カタチ”に ～多目的トポロジー最適化によるトレードオフ設計～ 株式会社FAI	プロセスインフォマティクスが変えるものづくり： CAE×AIによる製造条件の最適化 アイクリスタル株式会社
製造業における生成AI活用最前線 株式会社エム二	地上から空へ：ヒト飛行装置が拡張するモビリティ emblem株式会社	熟練者と新人の「差分」をAIで自動分析 株式会社キャリアサバイバル
		AI物理シミュレーションによる製造革新 — SolverX SolverX



没入感あふれる車載サウンド&ビジュアル体験

企画協力: Dolby Japan株式会社

Dolby Atmosの立体音響と色彩豊かな映像美がもたらす次世代のエンタメ空間をご体感いただきました。



新車・新技術搭載車両展示

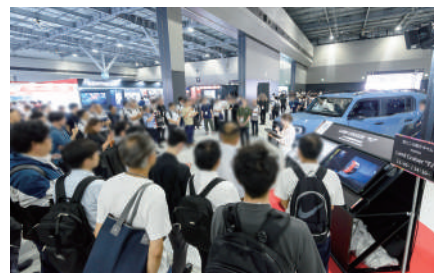
社名五十音順掲載

ISUZU GIGA
TOYOTA bZ4X TOURING
TOYOTA Land Cruiser "FJ"
NISSAN LEAF
HINO Fuel cell electric heavy-duty truck
HINO Poncho dot
HONDA XL750 TRANSALP
HONDA CB750 HORNET
HONDA PRELUDE
MITSUBISHI MOTORS DELICA D:5

最新技術を搭載する車両を一堂に集め、それぞれの車両が持つ技術を学べる企画を実施いたしました。

車両展示見どころ紹介タイム

新車・新技術搭載車両展示コーナーにて、車両の注目ポイントを各社の担当者が直接解説し、気になる車種の魅力をより深く体感できる企画を実施いたしました。



学生フォーミュラ日本大会2026PRコーナー

8月に開催にされた学生フォーミュラ日本大会2026に出場するチームの車両展示ならびにシミュレータ展示を行いました。

車両展示大学: 名古屋工業大学 (EV)



掲載実績一覧

本展示会は、様々な媒体で掲載・紹介されました。

※ 2026年7月末時点

テレビ

テレビ愛知	5時スタ	6/17, 7/17
NHK名古屋放送局	まるっと!	7/17

新聞・雑誌

株式会社中部経済新聞社	中部経済新聞	6/5, 6/18, 6/19, 7/17
読売新聞グループ本社	読売新聞	7/17
株式会社公論出版	サービス戦略	7/26

Web

朝日新聞(デジタル版)	ニコニコニュース
WEB CARTOP	日刊工業新聞
excite.ニュース	日刊自動車新聞
carview!	niftyニュース
くるまのニュース	ベストカーWeb
CREA	MICE TIMES ONLINE
ゴム報知新聞	Mapionニュース
Cycle Sports	MOTOR CARS
財経新聞	ものシンク
産経新聞	YAHOO!ニュース
GENERAL NEWS WEB	読売新聞オンライン
JJJI.COM	livedoor News
選挙ドットコム	Response
中部経済新聞	
dmenuニュース	
電波新聞デジタル	

取材メディア一覧

本展示会は、多くのメディアに注目されました。

計26社 五十音順掲載、フリーランス含む (2025年度 39社)

ITSプラットフォーム21	テレビ愛知株式会社
朝日新聞社	トータルテクニカルソリューションズ株式会社
朝日新聞名古屋本社	日刊工業新聞社名古屋支社
株式会社インプレス	株式会社日刊自動車新聞社
株式会社化学工業日報社	株式会社日経BP
金森産業株式会社	公益社団法人日本外国特派員協会
株式会社産業新聞社中部支社	日本経済新聞社名古屋支社
株式会社産業タイムズ社大阪支局	一般財団法人日本自動車研究所
知多半島ケーブルネットワーク株式会社	一般社団法人日本陸用内燃機関協会
株式会社中日新聞社	株式会社フォーイン
株式会社中部経済新聞社	マークラインズ株式会社
DAC JAPAN	株式会社メディア・ヴァーグ
株式会社Tech-T	
株式会社鉄鋼新聞社	





人とくるまのテクノロジー展
Automotive Engineering Exposition
2026 ONLINE



結果報告書



主催：公益社団法人自動車技術会

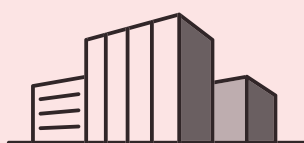
ONLINE STAGE 2
2026年6月10日(水)-7月1日(水)



開催概要

名称	人とくるまのテクノロジー展 2026 ONLINE STAGE 2
会期	2026年6月10日(水)～ 7月1日(水)
会場	オンライン展示会サイト
主催	公益社団法人自動車技術会
協賛	(一社)板硝子協会、(一社)軽金属学会、(公社)計測自動制御学会、(一社)JASPAR、(一社)潤滑油協会、(一社)情報処理学会、(一社)人工知能学会、(公社)石油学会、石油連盟、(一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(公社)土木学会、(一社)日本アルミニウム協会、日本LCA学会、(一社)日本機械学会、(公社)日本工学会、(公社)日本材料学会、(一社)日本自動車会議所、(一社)日本自動車機械器具工業会、(一社)日本自動車機械工具協会、(一財)日本自動車研究所、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車車体工業会、(一社)日本自動車タイヤ協会、(一社)日本自動車部品工業会、(公財)日本自動車輸送技術協会、(一社)日本ディーラーニング協会、(一社)日本鉄鋼協会、日本内燃機関連合会、(一社)日本マグネシウム協会、(一社)モビリティサービス協会
来場対象者	自動車・部品・車体メーカーの設計／研究／実験／開発の技術者・研究者、生産技術・品質管理／技術管理／購買部門の担当者、公的研究機関の技術者・研究者、自動車周辺企業の技術関係者、大学／専門学校／工業高校の教職員・学生など
言語対応	日本語／英語

出展社数



551 社

485 社

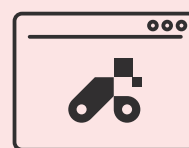
来場登録者数



42,285 名

38,472 名

訪問者数



50,284 名

51,715 名

※グレー数値は前回(2025年)の値

※訪問者数は、上記の来場登録者がオンライン展示会へアクセスした回数(1日1カウント)となります。

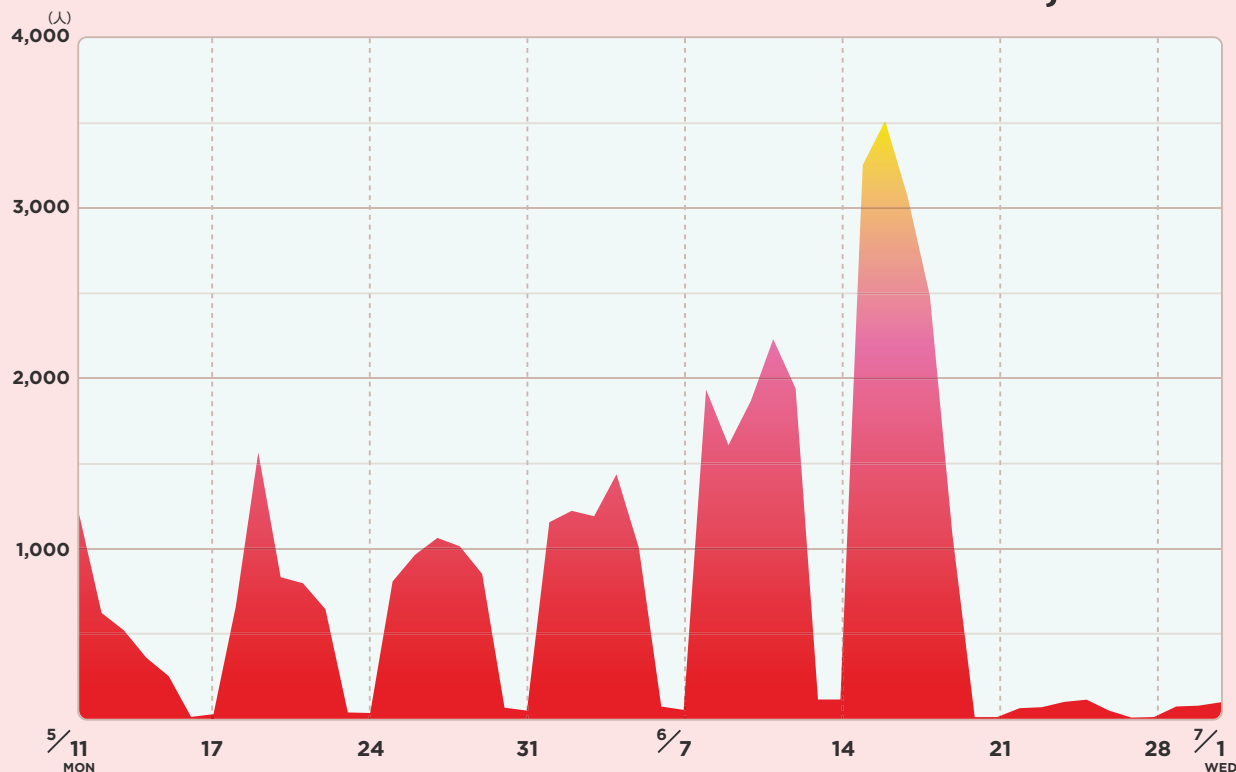


開催概要

来場登録者数 推移

ONLINE STAGE 2 登録者数

42,285 名

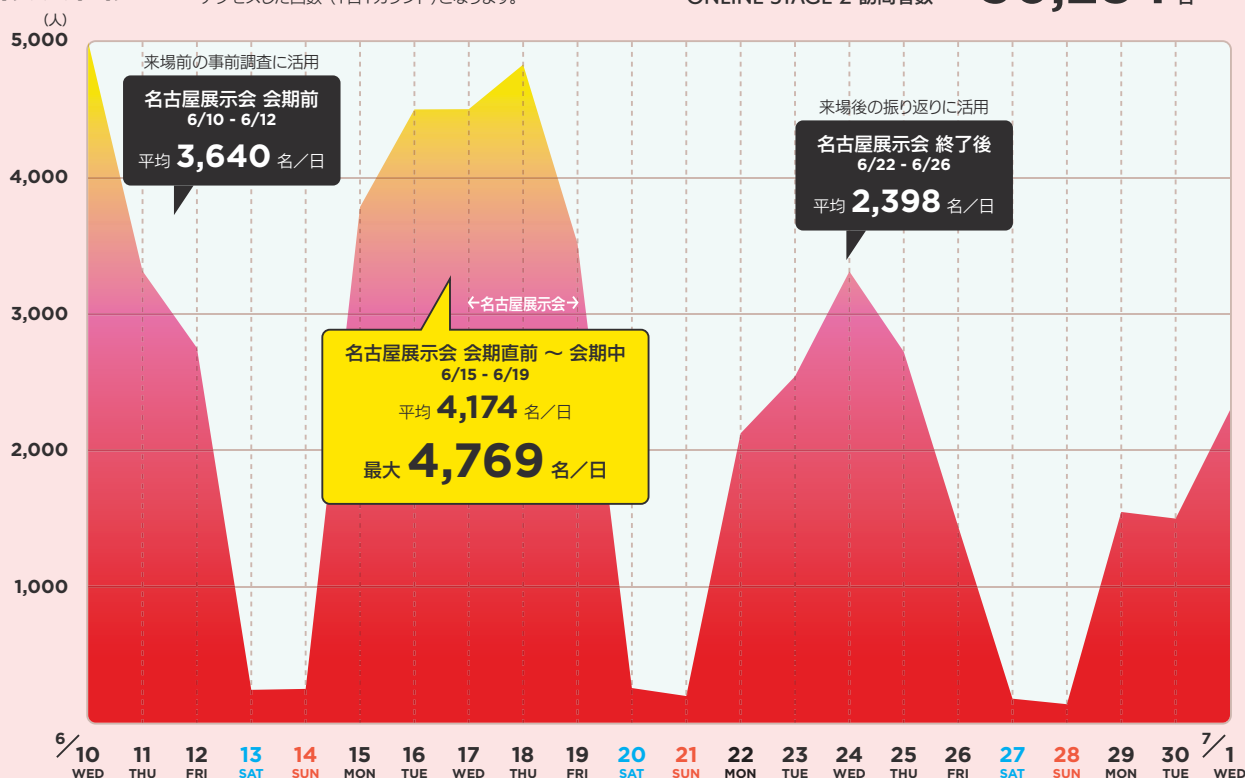


訪問者数 推移

※訪問者数は、上記の来場登録者がオンライン展示会へアクセスした回数（1日1カウント）となります。

ONLINE STAGE 2 訪問者数

50,284 名

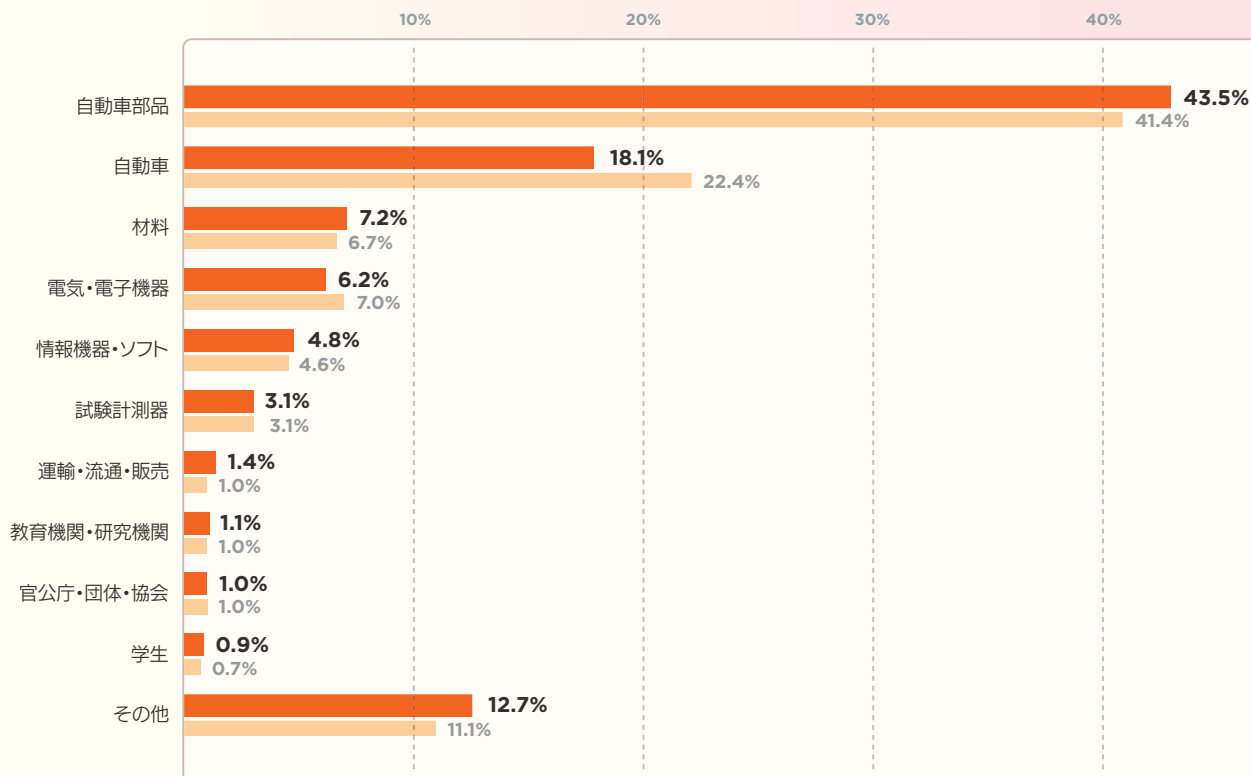




来場者データ

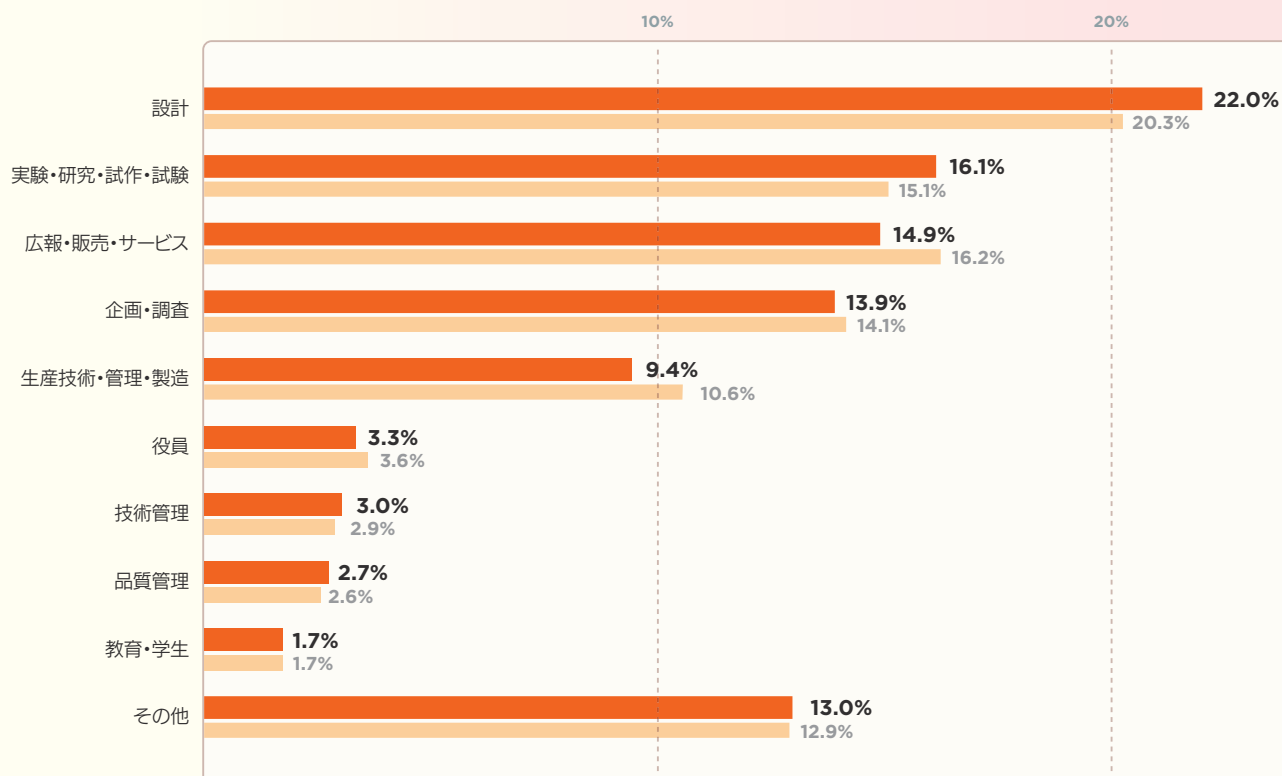
業 種

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



職 種

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



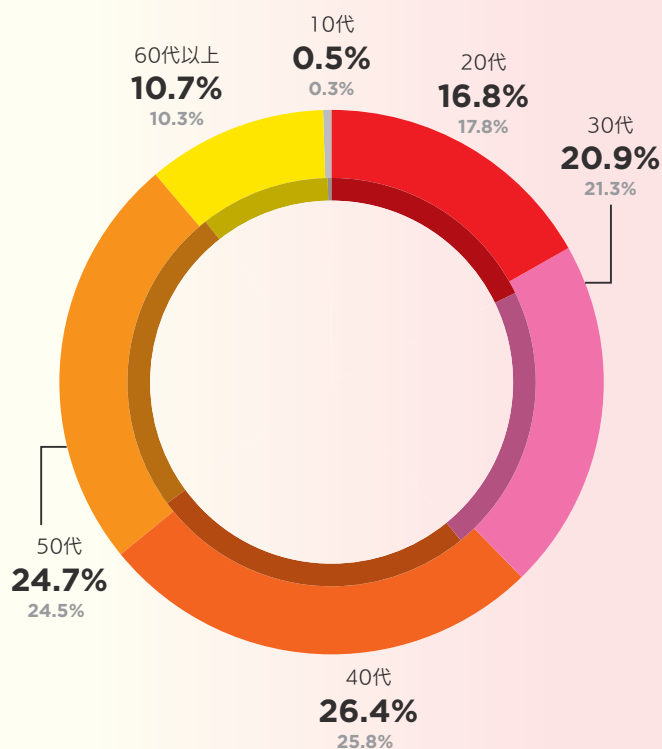
※グレー数値は前回(2025年)の値



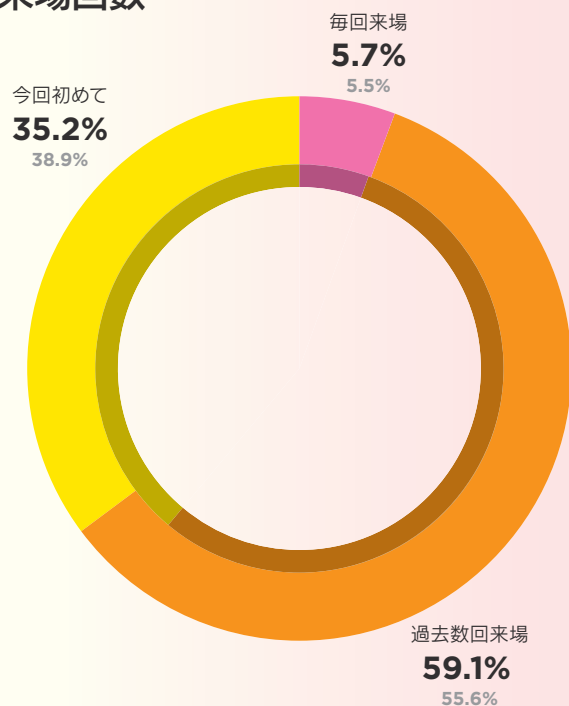
来場者データ

年 代

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ

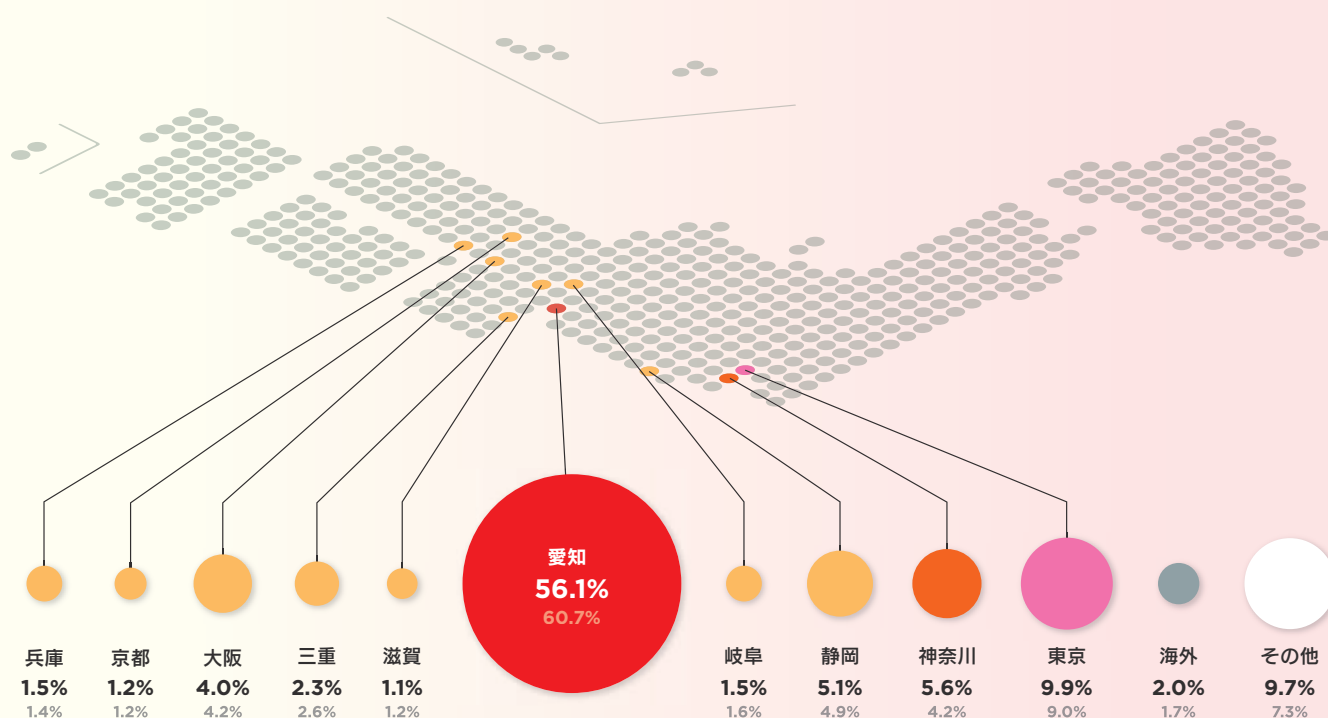
本展示会への
来場回数

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



地 域

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



※グレー数値は前回(2025年)の値



来場者データ

NEW! AIチャット機能

2026年より新たにAIチャット機能を導入しました。キーワードだけでなく、目的や課題を文章で入力することで、出展社が登録した情報とマッチさせ、関連性の高い出展社を表示する機能です。展示会来場前の事前調査として多く活用されました。



質問された技術用語ランキング

(総質問数: 26,589)

- 1 自動運転に関する企業
- 2 EVバッテリー技術を展示している企業
- 3 車載半導体のメーカー
- 4 AI
- 5 自動運転
- 6 軽量化
- 7 リサイクル
- 8 樹脂

利用者の声

キーワードによる検索が以前よりも使いやすくなっていると感じました。出展企業数が多いので、目的の会社を選ぶのに役立ちました。

事前に展示品の概要を確認して見学先選定の参考として利用しました。社名が分からなくても、製品から当該の企業が探し出せるのが良かったです。

展示製品の予習や復習がしやすくなり、とても助かりました。また、出張報告書をまとめる上での内容確認等でも非常に役立ちました。

出展社と製品・技術が検索出来て、訪問する企業の目星をつけることができました。デジタルMAP機能も活用し、見学ルートを事前に検討することができました。

自分の興味領域を選択しておすすめ企業を出してもらいました。全く知らなかった企業を知ることができ、新しい気づきを得ることができました。

検索は使いやすかったですが、展示品に関して概要しかない企業がいくつか見受けられました。展示物についての詳細な情報があれば興味を持ちやすいように感じます。



有効回答件数

781件**来場者の声**

AIによるおすすめ機能で、自分では検索しなかった企業や製品を知ることができ、新たな技術との出会いにつながりました。興味分野に応じた情報収集ができ、大変便利だと感じました。

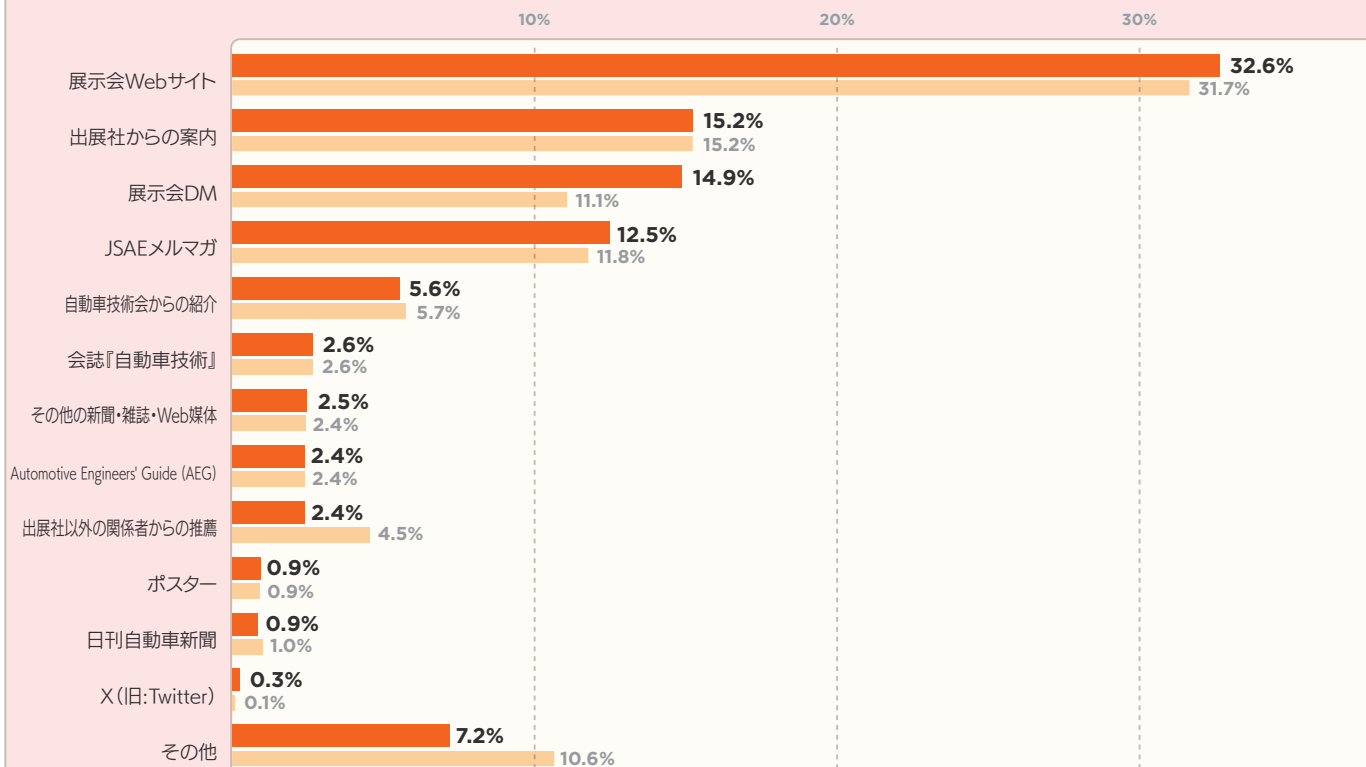
出展社だけでなく、製品名や技術分野から検索できたことで、目的の情報を効率よく探すことができました。展示会前の情報収集として非常に役立ち、当日の見学計画も立てやすくなりました。

見学予定の出展社やブース位置を事前に確認できたことで、限られた時間の中でも効率よく会場を回ることができました。事前準備のツールとして有効だと感じました。

展示会終了後もオンラインで出展社情報を確認できたため、現地で得た情報の振り返りや、見逃してしまった企業の情報収集に活用することができ、大変便利でした。



展示会を知ったきっかけ



Collaboration for Future Mobility

モビリティは、ここから変わる

ONLINE STAGE 2

6/10 WED → 7/1 WED

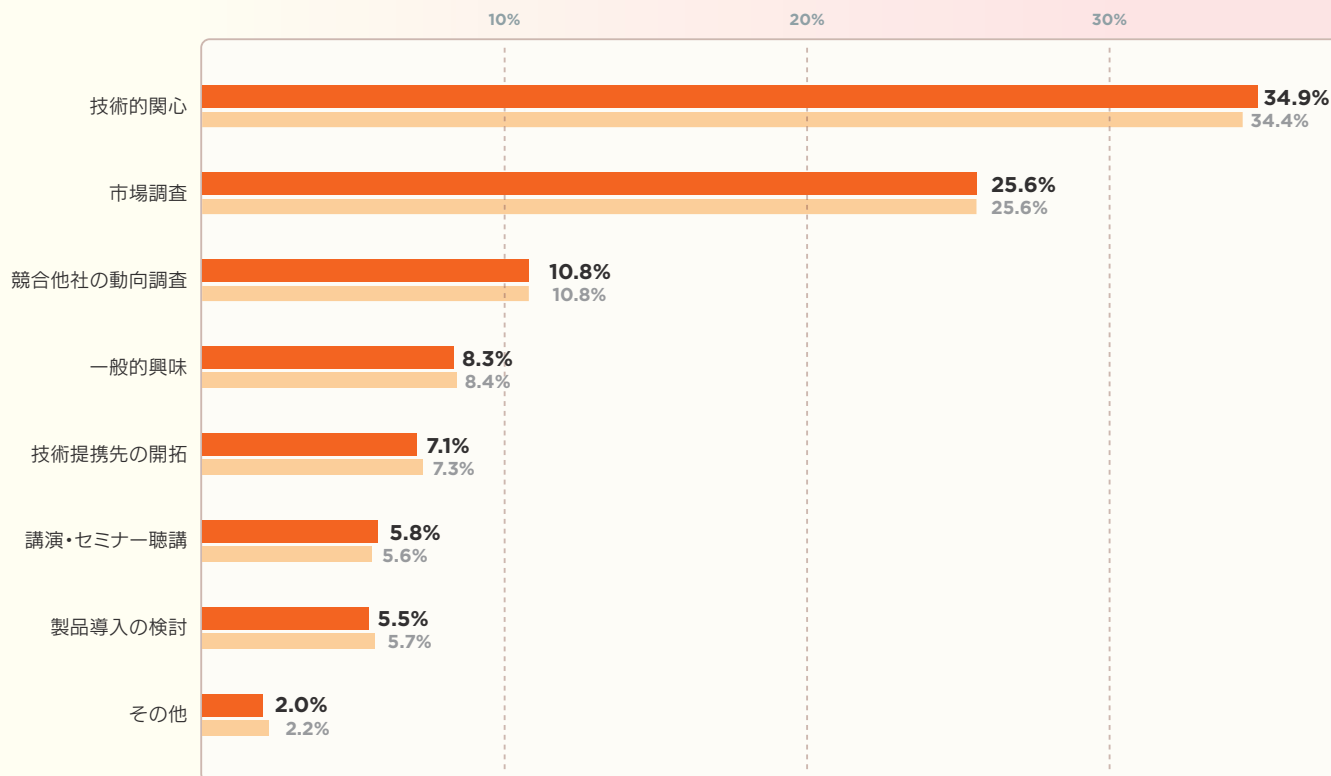
気になる技術や出展社を
AIに聞いてみる

☐ チャットをひらく

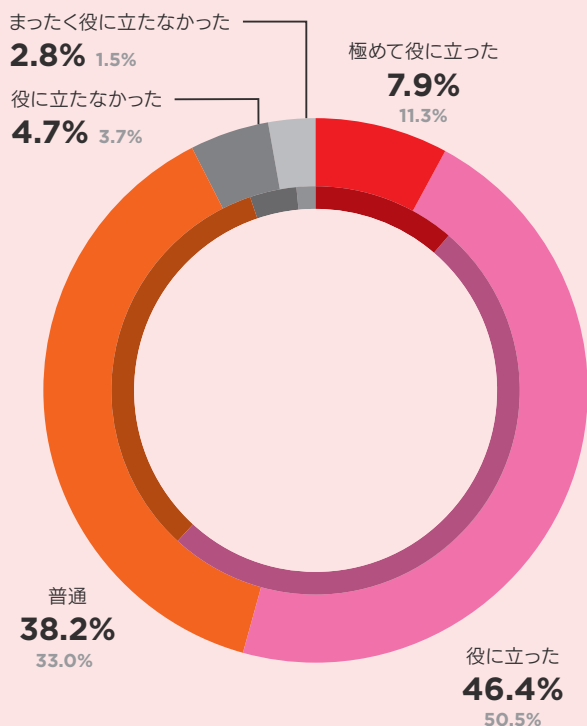


来場目的

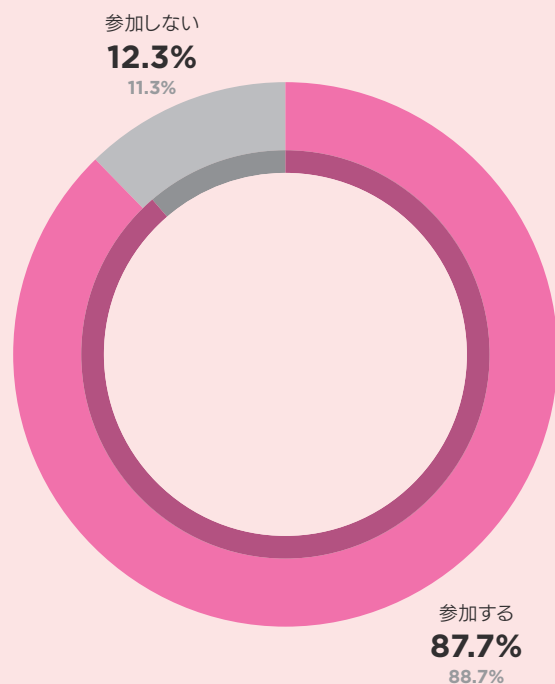
NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ



来場目的の達成度



次回参加の可能性

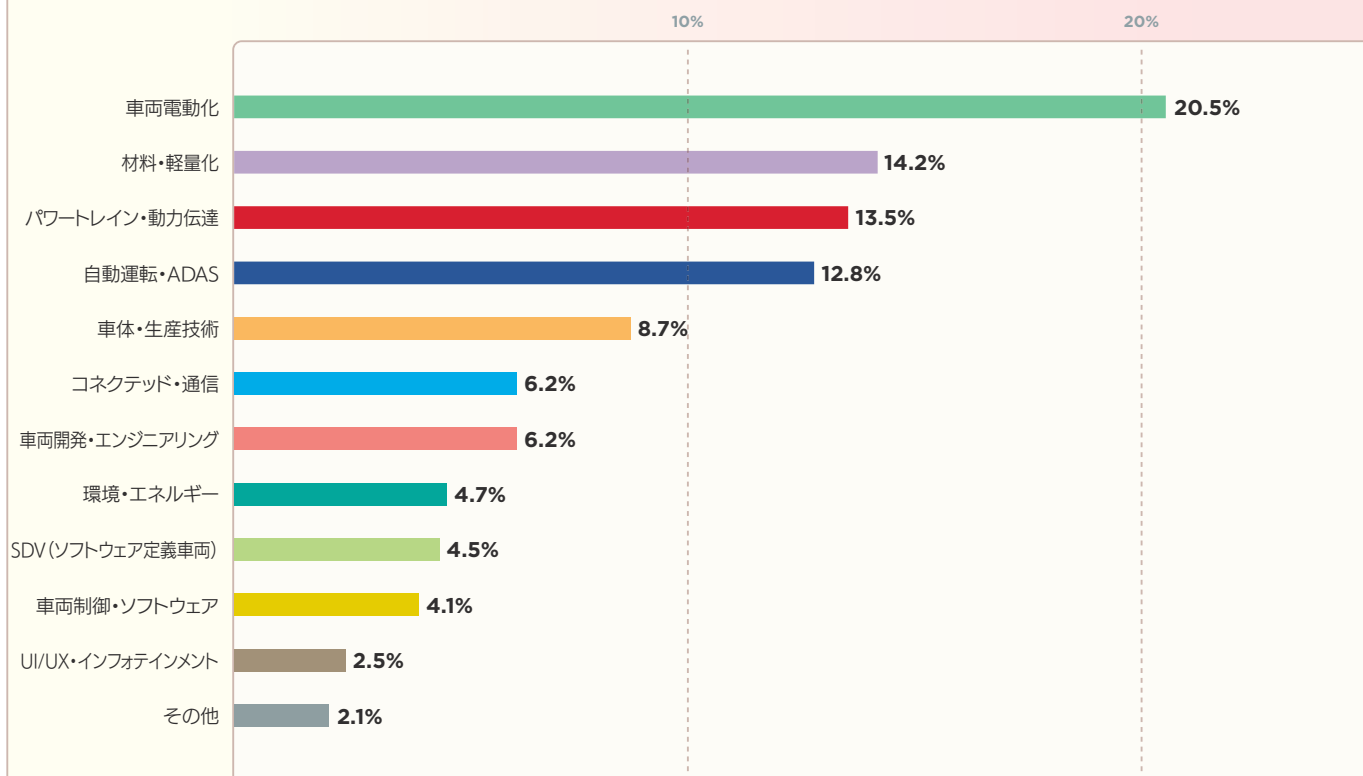


※内側円グラフ及びグレーの数値は前回(2025年)の値



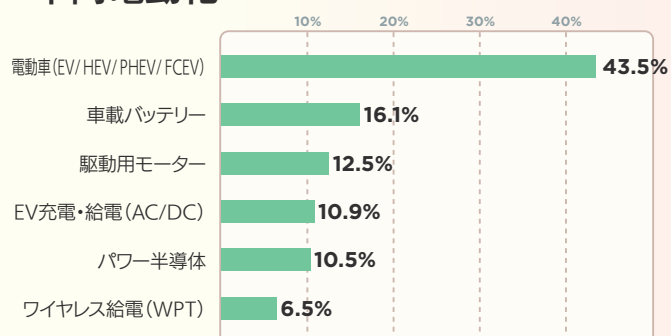
興味のあるカテゴリ

NAGOYA/ONLINE STAGE 2 共通データ

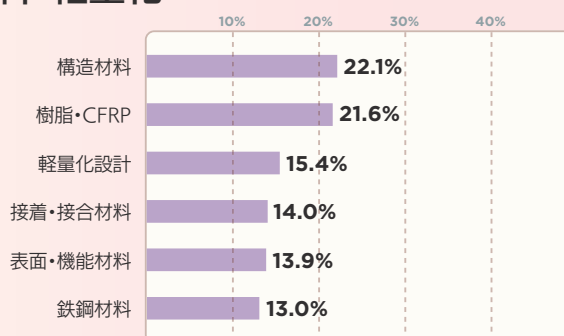


興味のあるカテゴリ 内訳

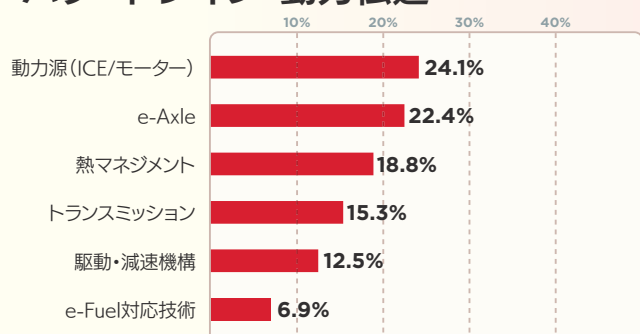
車両電動化



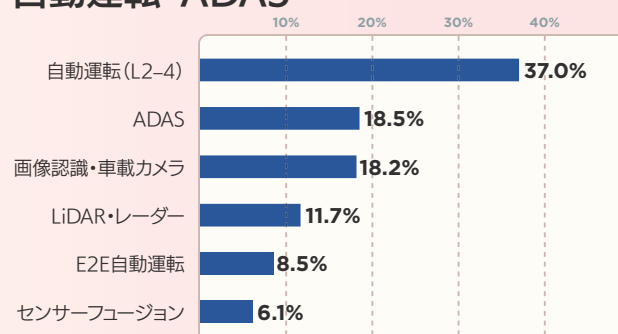
材料・軽量化



パワートレイン・動力伝達



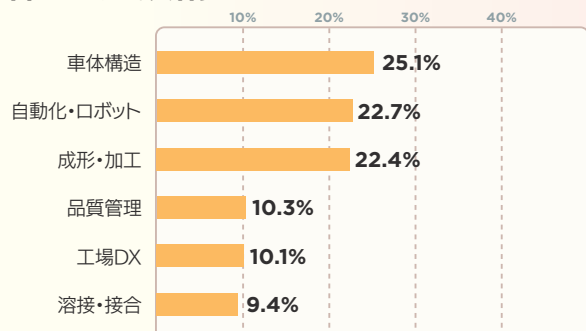
自動運転・ADAS



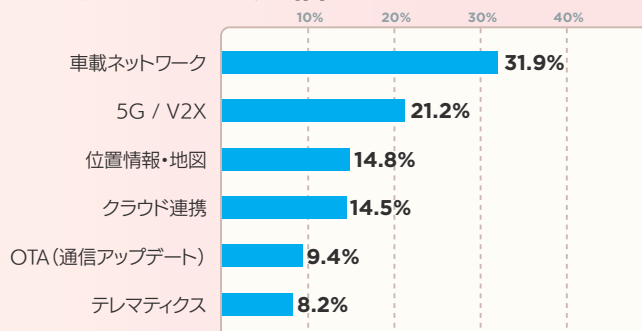
※集計方法の変更により前年度数値はありません



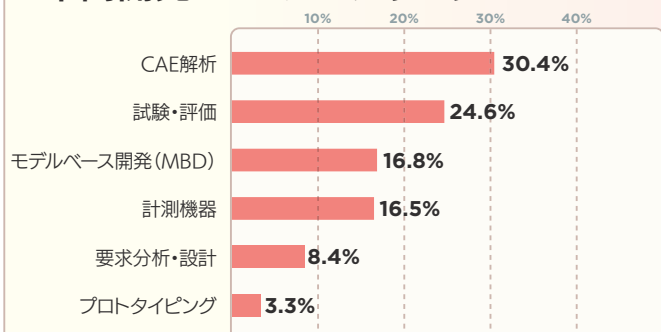
車体・生産技術



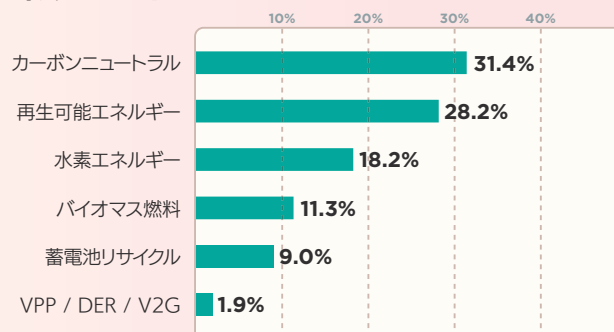
コネクテッド・通信



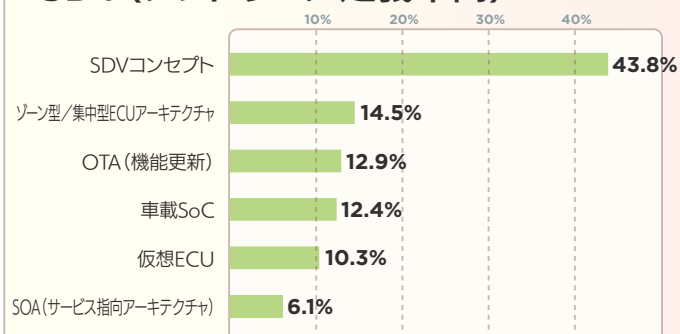
車両開発・エンジニアリング



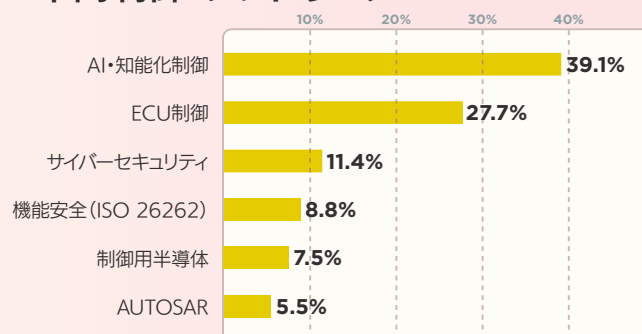
環境・エネルギー



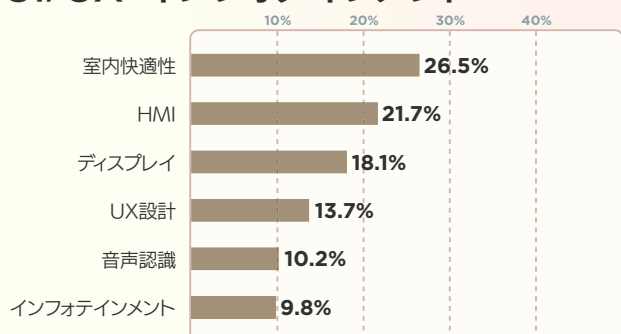
SDV (ソフトウェア定義車両)



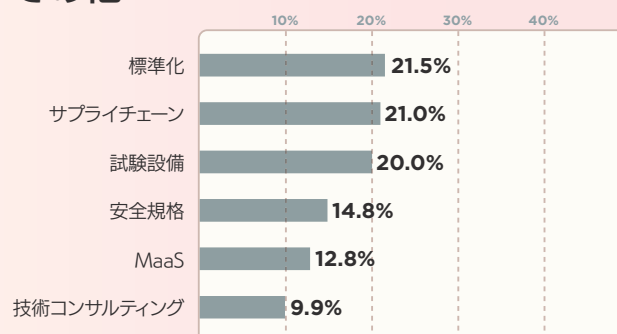
車両制御・ソフトウェア



UI/UX・インフォテインメント



その他

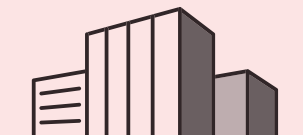


※集計方法の変更により前年度数値はありません



有効回答件数

52 社



出展社の声

展示会開催前から自社技術や製品を来場予定者へ発信できたことで、ブース来訪前の認知向上につながりました。事前に自社ページの情報を見た上で来場される方も多く、商談がスムーズに進みました。

AI検索や製品・技術検索を通じて、自社に関心の高い来場者へ情報を届けることができました。目的意識を持った来場者との接点が増えたと感じています。

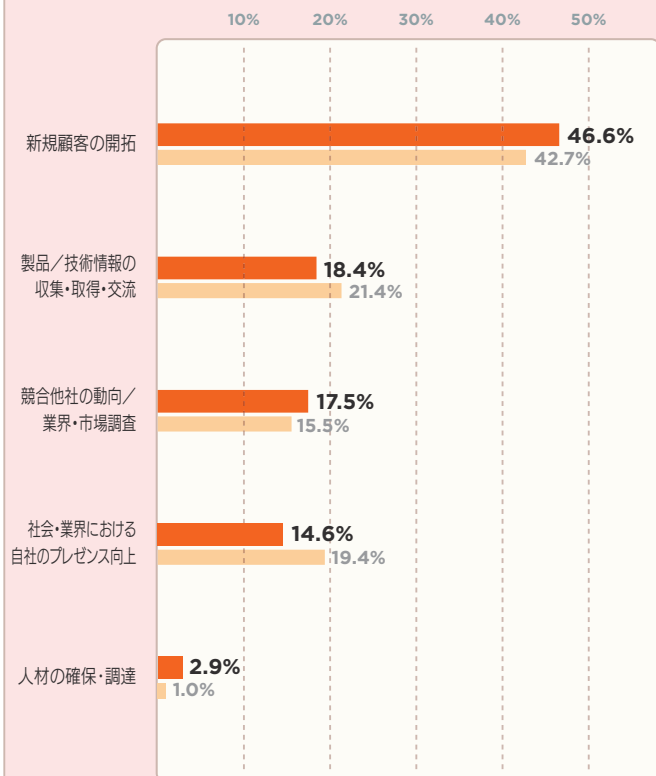
オンライン展示会を通じて、リアル会場では十分に説明できなかった製品や技術情報を継続して発信することができました。展示会終了後も情報提供の場として有効に活用できました。

リアル展示会とオンライン展示会を組み合わせることで、来場前の情報収集から会期後のフォローまで、一貫したコミュニケーションが可能となり、展示効果の向上につながったと感じています。

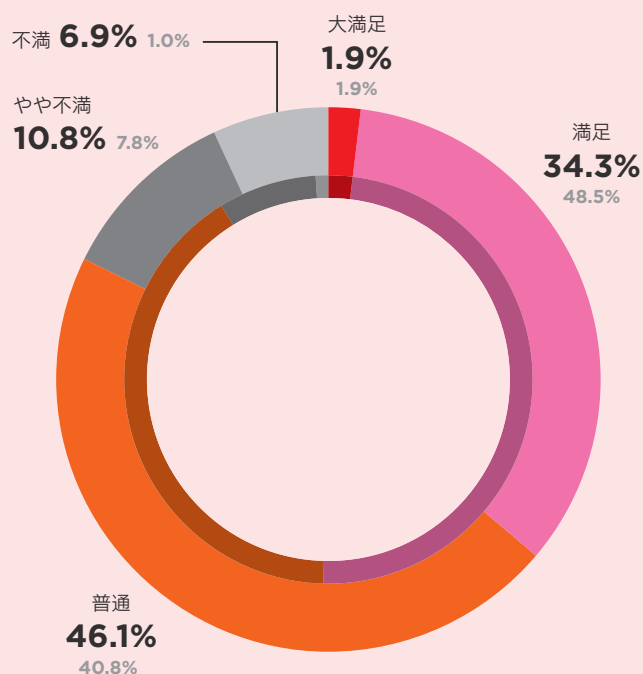


出展社アンケート

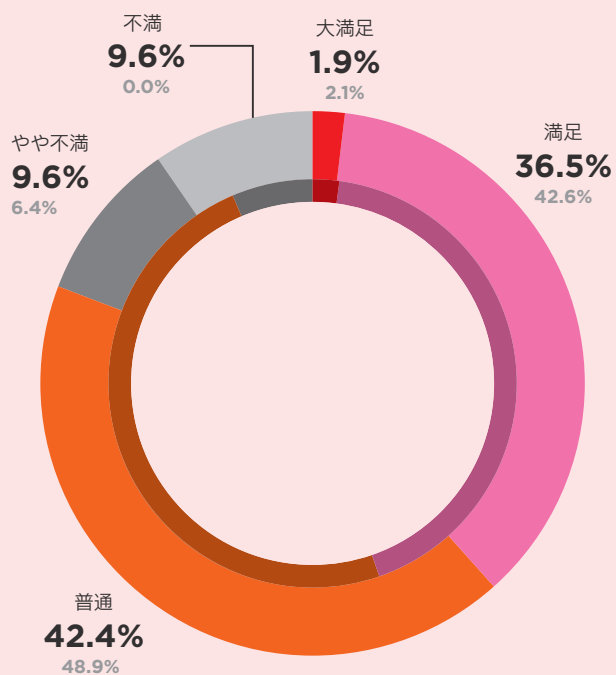
出展目的



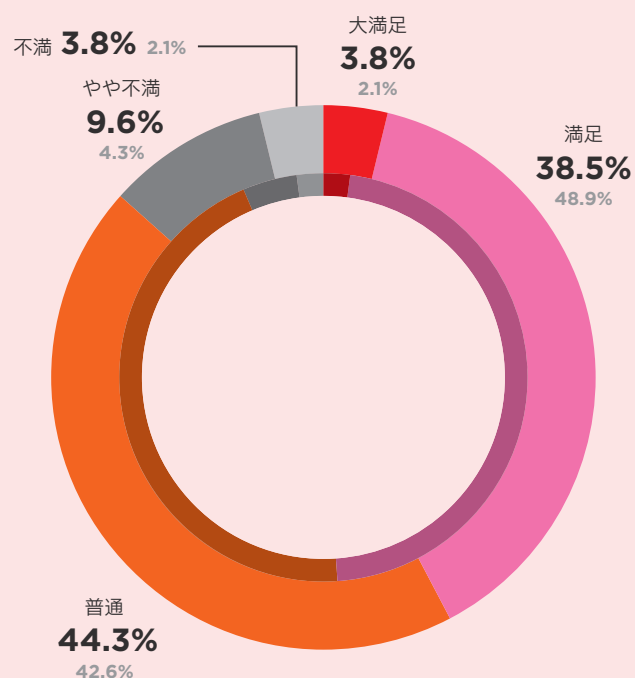
出展目的の達成度



来場者の印象



総合評価



※グレー数値は前回(2025年)の値



出展社ページアクセスランキング

人とくるまのテクノロジー展 2026 ONLINE STAGE 2では、6月10日(水)～7月1日(水)にかけて42,285名に来場登録いただきました。訪問者数が多かった上位30位をご紹介します。

ONLINE STAGE 2 アクセスランキング TOP30

1 トヨタ自動車株式会社

2 株式会社アイシン

3 株式会社デンソー

4 本田技研工業株式会社

5 トヨタ紡織株式会社

6 日産自動車株式会社

7 スズキ株式会社

8 マツダ株式会社

9 トヨタ車体株式会社

10 アイカ工業株式会社

11 三菱自動車工業株式会社

12 住友電気工業株式会社

13 いすゞグループ(いすゞ自動車株式会社/UDトラックス株式会社)

14 株式会社SUBARU

15 アルプスアルパイン株式会社

16 三菱ケミカル株式会社

17 新電元工業株式会社

18 QUEST GLOBAL JAPAN Corp.

19 古河電気工業株式会社

20 津田工業株式会社

21 KOBELCOグループ(神戸製鋼所)

22 ダイハツ工業株式会社

23 住友化学株式会社

24 フタバ産業株式会社

25 ダイキョーニシカワ株式会社

26 株式会社三五

27 明治電機工業株式会社

28 株式会社アイセロ

29 株式会社UACJ

30 日野自動車株式会社



各種講演

JSAE企画講演

アーカイブ配信 6/24(水) ~ 7/1(水) JSAE会員限定配信 7/2(木) ~ 7/9(木)

DX時代における製品セキュリティの取り組み

株式会社デンソー 情報セキュリティ推進部 製品セキュリティ室長 平永 敬一郎 氏

AX時代の組織・人材開発 ― 求められるHuman & AI Skills

PwCコンサルティング合同会社 組織人事・チェンジマネジメント部門/人材開発部門 ディレクター 三城 雄児 氏

隠れたAIで高めるモビリティの魅力

東京大学 大学院工学系研究科・教授 川原 圭博 氏

フィジカルAI革命:クルマの身体化・知能化とアーキテクチャ再設計の必然

名古屋大学 モビリティ社会研究所・客員教授 野辺 継男 氏

Agentic AI により、さらに進化する自動車

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 自動車事業本部 産業スペシャリストグループ プリンシパル ソリューションズ アーキテクト 梶本 一夫 氏

次世代を創る、AIの原動力:生成AIの進化とNVIDIAの挑戦

エヌビディア合同会社 エンタープライズ事業本部 事業本部長 井崎 武士 氏

パナソニックグループにおけるウェルビーイングとAI技術の取り組み

パナソニックホールディングス株式会社 DX・CPS本部 デジタル・AI技術センター AIソリューション部 部長 築澤 宗太郎 氏

出展社セミナー

社名五十音順掲載

計測エンジニアリングシステム株式会社	CAE・実験・実測をつなぐAI活用 ― 不確かさを前提としたロバスト設計 ―
コグネックス株式会社	AI ビジョンが実現する 超高速検査と、精度の両立
KOBELCOグループ(神戸製鋼所)	CNモビリティ開発を加速する統合解析ソリューション ― 素材・駆動・電池・安全を貫く技術力 ―
サイエンスコススペシャルティポリマーズジャパン株式会社	Expert insights for optimizing electric mobility
Japan Novosense Microelectronics株式会社	車載システムの進化を支えるNOVOSENSEの半導体技術
株式会社テクノスター	Jupiter ― Interlinked CAE Hub CAEワークフローをつなぐハブ
テクマトリックス株式会社	生成AIによる技術的負債を防ぐ「コード品質のガードレール」〜車載・組込開発の新ワークフロー〜
DESAY SV AUTOMOTIVE JAPAN 株式会社	AIが自動車業界に与える影響。
Vicor株式会社	Vicorの高性能電源モジュールで実現する、車載システムアプリケーション事例
Patsnap	最速の開発サイクルへ:Patsnap AIによる次世代車材料探索とRare Earth-Lean戦略
ProtoPie / ボーンデジタル	開発スピードを飛躍的に向上!高精度プロトタイプで実現する次世代自動車HMIのユーザー検証
プロメテック・ソフトウェア株式会社	粒子法流体解析ソフトウェア「Particleworks」のご紹介
株式会社堀場製作所	欧米CO ₂ 規制の最新動向と対応する計測・評価ソリューション
株式会社堀場製作所	カーボンニュートラルに向けた燃料多様化と粒子規制の最新動向に対応するHORIBAの計測ソリューション
株式会社マックスシステムズ	未来へつなぐテストシステムオペレーション Systemlinkで実現する連携とオペレーションの最適化
丸紅I-DIGIOグループ 丸紅情報システムズ株式会社	EVシフト期の開発評価複雑化とリードタイム短縮に寄与する3D計測活用事例
株式会社明電舎	既存設備を活用しながら実現する試験環境の最適化



技術情報ブリーフィング

各出展技術・製品の細部にフォーカスし、担当者へのインタビューや実際の製品稼働状況などをわかりやすく紹介いただきました。

技術情報ブリーフィング出展社一覧 五十音順掲載



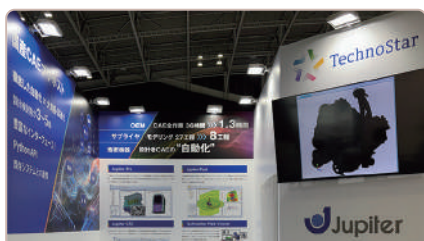
S&P Global Mobility Co., Ltd.



Everpure



ダイترون株式会社



株式会社テクノスター



トヨタ紡織株式会社



公益財団法人長野県産業振興機構



ニュートンワークス株式会社



古河電気工業株式会社



明治電機工業株式会社

EXHIBITORS LIST



出展社一覧

出展社数はNAGOYAと
ONLINE STAGE 2の合計数

出展社数 **551** 社

出展小間数 **1,118** 小間

自動車	12 社	部品	166 社	材料	56 社	テスト	95 社	ソフトウェア	42 社
	CAE ソリューション	19 社	カーエレクトロ ニクス	45 社	R&D・出版 ・団体	98 社	スタートアップ・ アカデミア	18 社	

カテゴリ別五十音順掲載／共同出展社は一字下げ、●はオンラインのみの出展社

自動車

いすゞグループ

- いすゞ自動車株式会社
- UDTトラック株式会社

スズキ株式会社

株式会社SUBARU

ダイハツ工業株式会社

トヨタ自動車株式会社

トヨタ車体株式会社

日産自動車株式会社

日野自動車株式会社

本田技研工業株式会社

マツダ株式会社

三菱自動車工業株式会社

部品

有限会社アートスクルー

株式会社愛幸発條

株式会社アイシン

I-PEX株式会社

株式会社浅野

Amsted Automotive

アルプスアルパイン株式会社

Amphenol Communications Solutions

株式会社イーティーエィコンポーネンツ

伊藤金属工業株式会社

井前工業株式会社

イリソ電子工業株式会社

ウイツエンマンジャパン株式会社

株式会社生方製作所

浦谷商事株式会社

ACTech GmbH

SCTECH株式会社

SJM Co.,LTD

株式会社FTS

FBKホールディングス株式会社

L&P Automotive Japan K.K.

オーティス株式会社

株式会社岡崎製作所

小川工業株式会社

Caillau

河西工業株式会社

川崎工業株式会社

北川工業株式会社

協和工業株式会社

倉敷化工株式会社

株式会社グリーンプラス

株式会社クリモト

K2 LASER SYSTEM株式会社

ケル株式会社

株式会社コイワイ

Cosy Spring TOKIWA (Guangzhou) Auto Science & Technology Co., Ltd

サウスコ・ジャパン株式会社

三恵技研工業株式会社

株式会社三五

サンコール株式会社

サンゴパン株式会社

サン電子工業株式会社

株式会社シーケーピー

株式会社ジークト

株式会社JMC

ジェンサームジャパン株式会社

公益財団法人静岡県産業振興財団

- 天白精機株式会社

- 浜名部品工業株式会社

- ローランド ディー・ジー株式会社

- 株式会社エス・ティ・ケイ

- 精発ばね工業株式会社

- 株式会社マルイチ

シチズンファインデバイス株式会社

- シチズン時計株式会社

ジャパンマシンナリー株式会社

シュンク・ソノシステムズ

城北化学工業株式会社

株式会社新城製作所

深セン雅瑪西科技株式会社

スグジグ

株式会社鈴木

株式会社鈴木スプリング製作所

Stanley Engineered Fastening / ポップリベット・ファスナー株式会社

スペースシステムズ株式会社

住友電気工業株式会社

センシリオン株式会社

第一工業株式会社

第一実業株式会社

ダイキョーニシカワ株式会社

Thai Summit Harness Public Co., Ltd.

大同メタル工業株式会社

ダイトロン株式会社

大豊工業株式会社

太陽誘電株式会社

株式会社タカハラ

多摩川精機株式会社

中央発條株式会社

中駿森馳自動車部品株式会社

中日電熱株式会社

津田工業株式会社

TPR株式会社

株式会社ティン

Daegu Mobility Pavilion (korea)

- Kunil Industry Co., Ltd.

- SINDO CO., LTD

- Glassdome, Inc.

- FutureDrive Inc.

DESAY SV AUTOMOTIVE JAPAN 株式会社

株式会社デンソー

東海興業株式会社

- 化成工業株式会社

- アド株式会社

東プレ株式会社

所沢軽合金株式会社

株式会社戸田レーシング

Datwyler Sealing Technology (Anhui) Co., LTD

株式会社TOP

株式会社トピア

- 住友重機械工業

豊田合成株式会社

トヨタ紡織株式会社

トライス株式会社

Drive System Design, TECOSIM, Hinduja Tech

盾安汽車熱管理科技有限公司

株式会社長倉製作所

中西金属工業株式会社

ナフテスコオートモーティブ株式会社

- ナフテスコ株式会社 イノベーション戦略室 CVC推進部

株式会社日進PREVO

日本シーゲイト株式会社 / プラナスソリューションズ株式会社

日本発条株式会社

日本キャノン株式会社

日本グリーンコン株式会社

日本端子株式会社

ネクスス株式会社

ノウルズ・エレクトロニクス・ジャパン株式会社

EXHIBITORS LIST



出展社一覧

NORMA Group
Vicar株式会社●
株式会社ハンパモールド
BICV Technology Co., Ltd.
PWO
株式会社樋口製作所
株式会社ビザスク
Hyundai Motor Group Partners
- ILSHIN TECHNOLOGY
- WOOSUNG
- KUMHOJUNGKONG CO.,LTD.
- Kumsan Korea Inc
- TRUWIN
- CASTMAN
- Hyundai Hitec Co., Ltd.
- Taechang Forging Co.,Ltd.
- MOPLAT
- KAI TECH Inc.
- Sejisolotech inc.
- Hyunjin Precision
- AM Co.,Ltd.
- POCONS CO.,LTD
株式会社ヒョンデ工業
Hirschvogel Umformtechnik GmbH Ltd.
ヒロセ電機株式会社
福田交易株式会社
株式会社不二機販
フタバ産業株式会社
古河電気工業株式会社
兵神装備株式会社
HENN GmbH & Co KG
ホットィーガリマー株式会社
丸紅エネクエスト株式会社
マルホ発條工業株式会社
株式会社ミツバ
株式会社三星製作所
- 株式会社ヤマト建設
- 龍神村森林組合
美和工販株式会社
武蔵エンジニアリング株式会社
株式会社メタルアート
柳河精機 & ダイヤメット
- 株式会社ダイヤメット
- 児玉化学工業株式会社
株式会社コタカ技研
株式会社ユニバンス
ユニプレス株式会社
YURA TECH Co., Ltd.
吉川工業ファインテック株式会社
リズム株式会社
リナマー・ジャパン株式会社
株式会社レゾナック
レラッツ・ジャパン株式会社
ロラックスジャパン

材料

アイカ工業株式会社
株式会社アイセロ
Auer Lighting GmbH
アキレス株式会社

旭モルディング株式会社
アルケマ株式会社
アロン化成株式会社
EAGLYS株式会社
株式会社ウェーブロック・アドバンスト・テクノロジー
ATG Hand Care (Pvt) Ltd
MP五協フード & ケミカル株式会社
倉敷紡績株式会社
株式会社クラレ
グンゼ株式会社
コベストロジャパン株式会社
KOBELCOグループ (神戸製鋼所)
サイエンスコスパシヤリマーズジャパン株式会社
JFEスチール株式会社
住友化学株式会社
住友ベークライト株式会社
第一電通株式会社
ダウ・ケミカル日本/ ダウ・東レ
タキロンシーアイ株式会社
TSK株式会社
デクセリアルズ株式会社
デュポン・ジャパン株式会社
天津三環楽喜新材料有限公司
- SHM
東亜合成株式会社
東栄電化工業株式会社
東ソー株式会社
東洋ドライループ株式会社
東レ株式会社
トーヨーカラー株式会社
株式会社巴川コーポレーション
中村科学工業株式会社
西日本貿易株式会社
日産化学株式会社
日東紡績株式会社
株式会社ニッペコ
日本アイ・ティ・エフ株式会社
日本ブラズマトリート株式会社
- テサテープ株式会社
寧波金田銅業 (集団) 株式会社
BASFグループ
Hyundai Steel Co., Ltd.
FUJIPOLY (富士高分子工業)
マナック株式会社
三井化学株式会社
三菱ケミカル株式会社
三菱商事テクノス株式会社
ミノル株式会社
メイワフォース株式会社
株式会社UACJ
Yulchon Korea Mexico Poland
リンテック株式会社

テストング

アイテック阪急阪神株式会社
アテック株式会社
株式会社アネブル
アンリツ株式会社
株式会社イー・ジー・メジャー
インターテックジャパン株式会社

インフィコン株式会社
WINDHILL TECHNOLOGIES Pte. Ltd.
- IPETRONIK GmbH & Co. KG
株式会社エー・アンド・ディ
NI (now part of Emerson) Corp.
株式会社エビデント
エフティテクノ株式会社
株式会社オートテックジャパン
株式会社オクテック
株式会社小野測器
株式会社オプソック
株式会社カーリット
カルツァイス株式会社
ガイロジック株式会社●
一般財団法人化学物質評価研究機構
株式会社GAFS
- Blueke株式会社
- IPETRONIK GmbH & Co. KG
キーコム株式会社
菊水電子工業株式会社
QMAIL
株式会社共和電業
Quadcept株式会社
CRYSOUND
クロマジャパン株式会社
株式会社KMC
株式会社Cominix
株式会社三弘
JFEテクノリサーチ株式会社
株式会社シェルパ
シグレント・ジャパン株式会社
株式会社システムプラス
島津システムソリューションズ株式会社
SinceVision
株式会社高砂製作所
鶴賀電機株式会社
株式会社ディテクト
テクノス株式会社
テスコ株式会社
- 株式会社ヴィッツ
株式会社テック技販
デュー・ジャパン株式会社
デュフ ラインランド ジャパン株式会社
Dumarey
テレダイン・レクロイ●
株式会社東京測器研究所
株式会社東陽テクニカ
トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
内藤電誠工業株式会社●
株式会社ナックイメージテクノロジー
日産車体株式会社
- 株式会社オートワークス京都
NISSHA株式会社
株式会社NIPPO
日本キスラー合同会社
一般財団法人日本自動車研究所
一般財団法人日本品質保証機構
株式会社ノビテック
日置電機株式会社
株式会社ヒューマネティクス・イノベティブ・ソリューションズ・ジャパン
株式会社フィジックステクノロジー

EXHIBITORS LIST



出展社一覧

VBOX JAPAN株式会社
株式会社フォトロン
株式会社フクダ●
株式会社富士テクニカルリサーチ
ブラザー販売株式会社●
ヘッドアコースティクスジャパン株式会社
株式会社堀場製作所
Mywayプラス株式会社
株式会社マツポー
丸文株式会社
丸紅・DIGIOグループ 丸紅情報システムズ株式会社
株式会社ミルス・システムズ
明治電機工業株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- 株式会社ケン・オートメーション
- コメットテクノロジー・ジャパン株式会社
- TANIDA株式会社
- 株式会社豊栄商会
- 株式会社アントンパール・ジャパン
- エスベックサーマルテックシステム株式会社
- 株式会社東海テクノ
- パナソニック株式会社
- 日本バーンズ株式会社
株式会社明電舎
株式会社山本科学工具研究社
株式会社UL Japan
ユニバース株式会社
株式会社リガク
株式会社レーザー計測
ワブテック・インスペクション・テクノロジー・ジャパン株式会社

ソフトウェア

株式会社IDAJ
アキイティ株式会社
イーソル株式会社
インタークロス株式会社
WIZAPPLY株式会社
NTT東日本株式会社
株式会社EpicAI
株式会社M2X
感性AI株式会社
キヤノンITソリューションズ株式会社
計測エンジニアリングシステム株式会社
コグネックス株式会社
株式会社CRI・ミドルウェア
株式会社シーマイクロ
株式会社ジェイテクトハイテック/株式会社アシストエンジニア
株式会社システナ
- イノテック株式会社
株式会社JINGS
ストックマーク株式会社
株式会社スマートドライブ
DUNLOP
株式会社横木製作
DEEP IN SIGHT Co., Ltd.
DeepLジャパン合同会社
テックマトリックス株式会社●
Tebiki株式会社
Dolby Japan株式会社
NIRA Dynamics Japan株式会社

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学
日本ケイデンス・デザイン・システムズ社
パースルクロステクノロジー株式会社
株式会社バーナードソフト
Patsnap
株式会社日立産業制御ソリューションズ
株式会社日立ソリューションズ
株式会社フォーラムエイト
ブレイドテクノロジー株式会社
ProtoPie / ボーンデジタル
ベクター・ジャパン株式会社
PolyWorks Japan株式会社
ラティス・テクノロジー株式会社
株式会社レヴィ

CAEソリューション

IPG Automotive株式会社
アンシス・ジャパン株式会社
- 株式会社 日本HP
インテグラル・テクノロジー株式会社
SMT ジャパン
Everpure
公益財団法人計算科学振興財団
COONTEC Co., Ltd.
サティヤムベンチャー・ジャパン株式会社
Shanghai Autodatas Co., Ltd.
株式会社スマートエンジニア研究所
株式会社テクノスター
デジタルプロセス株式会社
株式会社電通総研
ニュートンワークス株式会社
プロメテック・ソフトウェア株式会社
株式会社RICOS
レノバ・ジャパン合同会社
- オートデスク株式会社

カーエレクトロニクス

アレグロマイクロシステムズジャパン合同会社
インフィニオン テクノロジーズ ジャパン株式会社●
ウィンボンド・エレクトロニクス株式会社
株式会社クオルテック
KENOTOM P.C.
Japan Novosense Microelectronics株式会社
Shenzhen Hoverbird Electronics Technology Co., Ltd.
新電元工業株式会社
セミドライブテクノロジー社
SOLIZEグループ
株式会社テクノアクセルネットワークス
- IDTE (TIANJIN) CO., LTD
- WirelessCar Sweden AB社
- AISPEECH Co., Ltd.
ニチコン株式会社
日本AMD株式会社
マヴォトン テクノロジー・ジャパン株式会社
BizLink Technology Inc.
マウザー・エレクトロニクス
株式会社マックスシステムズ
- 株式会社イー・アイ・ソル
- 岩崎通信機株式会社

- ウーラジャパン株式会社
- SMFLレンタル株式会社
- エマソン (日本) NI
- 楠本化成株式会社
- 株式会社コア
- 株式会社comquda
- 株式会社スカイテクノロジー
- 積水化学工業株式会社
- 大和製罐株式会社
- 株式会社中央電機計器製作所
- 株式会社DTSインサイト
- 株式会社テクシオ・テクノロジー
- 株式会社テクニカルサポート
- 株式会社テクノサイエンスジャパン
- テレダイン・レクロイ
- 日本ノーベル株式会社
- 株式会社ハイロックス
- 株式会社松浦電弘社
- 由利電子部品株式会社
- ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社
- AV Simulation
株式会社メレキス・ジャパン テクニカルリサーチセンター
株式会社ヨコオ
ロボットバンク株式会社

R&D・出版・団体

アーカイブティップス株式会社
愛知県
- 株式会社浅井鋳造所
- 株式会社巴製作所
- 株式会社Spectee
- 株式会社旭工業所
- 株式会社日本高熱工業社
- 株式会社動研
- 株式会社東郷製作所
IDTechEx株式会社
A2Mac1 JAPAN株式会社
S&P Global Mobility Co., Ltd.
emblem株式会社
韓国貿易センター名古屋
- ACHROMAT
- ADD TEC
- AMOGREENTECH
- A-PRO
- Autol
- BEI
- CEPLA
- DAOU PRECISION IND
- DESCO
- DH TUBE
- DKTEC
- EcoFlex
- EHWA DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.
- ENERTECH International
- EZTECH
- GLOBAL CLIMATE CONTROL SYSTEM
- GLOQUADTECH
- HANWHA ADVANCED MATERIALS
- HYOLIM INDUSTRIAL
- HYOSEONG ELECTRIC

EXHIBITORS LIST



出展社一覧

- IJS
- INICS
- INP
- INZI CONTROLS
- JINKWANG
- JUNG A PRECISION
- LARGE
- MCNEX
- MotiveLink
- MPS KOREA
- OnD AI
- Orient Precision Industries
- SAMAS ELECTRONICS
- SAMBO MOTORS
- SAMHYUN
- SAMYOUNG MT
- SENSORTEC
- SEOJIN CAM
- SolutionX
- SUNGSU MECHATRONICS
- TAEILIM INDUSTRIAL
- TESK
- UNIICT
- VUERON TECHNOLOGY
- YOUNGSHIN PRECISION
- I&TECH

株式会社キカガク

岐阜県

- 片桐合成株式会社
- 岩戸工業株式会社
- 扶桑精工株式会社
- 株式会社ファインタック
- 株式会社間宮金型製作所
- 岐阜県再生ゴム研究会

QUEST GLOBAL JAPAN Corp.●

紅品科技東京株式会社

JATOジャパンリミテッド●

品川区

- タマチ工業株式会社
- ファイン株式会社
- 富士セイラ株式会社
- 株式会社京浜工業所
- 三和マテリアル株式会社
- 株式会社クレアクト

Speeda

株式会社ダット

公益財団法人長野県産業振興機構

- 株式会社南信精機製作所
- 三星ダイヤモンド工業株式会社
- 有限会社中澤鋳造所
- 塚田理研工業株式会社
- 太陽メカトロニクス株式会社
- 株式会社八光電機
- 株式会社小松プレゼンション
- 株式会社ミスズ
- 株式会社大東製作所
- 株式会社丸眞製作所
- 日本電磁測器株式会社
- 株式会社コシバ精密
- 株式会社シンエイ・ハイテック
- ニックトライシステム株式会社

- 株式会社セルコ
- ナンバーナインワークス株式会社
- Nature Architects株式会社

スタートアップ・アカデミア

- アイクリスタル株式会社
- 燈株式会社
- MI-6株式会社
- 株式会社エム二
- 株式会社Olio
- 株式会社気密プロジェクト
- 株式会社キャリアサバイバル
- 国立大学法人 九州大学
- Crystal株式会社
- Compredict
- 株式会社Things
- 株式会社STAR UP
- SolverX
- 株式会社Tamon
- Patentfield株式会社
- 株式会社FAI
- モビリティ・サイバーラボ・ジャパン株式会社
- LEAN PATH株式会社

次回開催のご案内



人とくるまのテクノロジー展 2027

Automotive Engineering Exposition 2027

YOKOHAMA

パシフィコ横浜

2027年5月

26日水 / 27日木 / 28日金

ONLINE STAGE 1

2027年5月19日水 - 6月9日水

NAGOYA

Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

2027年7月

21日水 / 22日木 / 23日金

ONLINE STAGE 2

2027年7月14日水 - 8月4日水

〈主催〉公益社団法人自動車技術会

※ONLINE STAGE 1, 2の開催日は変更となる場合がございます。

人とくるまのテクノロジー展 公式サイト ▶

出展の申込開始は2026年10月下旬を予定しております。
詳細は、後日公式サイトにてお知らせいたします。



お問合せ先

展示会運営事務局 株式会社大成社

〒104-0041 東京都中央区新富1-15-3 新富ミナマビル6階

TEL / 03-5542-0811

E-mail / exhib-expo@taiseisha.co.jp